

●モノグラフ

小学生ナウ

Vol. 9-1

先生

目次

| | |
|-----------------------------|---------|
| 要約 | 2 |
| はじめに | 6 |
| 1. 子どもにとっての校長先生 | 7 |
| ●校長先生とのふれあい | 7 |
| ●校長先生のイメージ | 8 |
| 2. 子どもが描く担任の先生 | 10 |
| ●お父さん・お母さんとの違い | 10 |
| ●子どもの求める先生 | 12 |
| ●担任の先生の評価 | 15 |
| ●子どもの評価の高い先生 | 23 |
| 3. 先生と子どものコミュニケーション | 28 |
| ●先生と子どものふれあい | 28 |
| ●先生とのふれあいの多い子 | 32 |
| ●子どもとのふれあいの多い先生 | 35 |
| ●ふれあいのもたらすもの | 38 |
| まとめに代えて | 43 |
| 地球社会の子どもたち ⑩ タイプーその2 資源班 | 深谷昌志 49 |
| 資料1 調査票見本 | 54 |
| 資料2 学年・性別集計表 | 63 |

禧

くって

たち」
り方)

体300円)

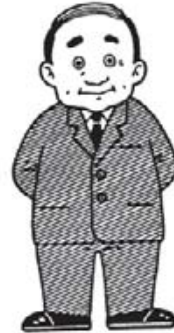
※おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。

| | | | | | | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---|--------------------------|--------------------------|---|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | <input type="checkbox"/> | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> | 調 | 査 | レ | ポ | ー | ト | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 先 | 生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 要 | 約 | | | | | <input type="checkbox"/> | |

放送大学教授 深谷昌志
 船橋市立大穴北小学校教諭 新井 誠

1. 評価が高い校長先生

子どもたちと校長先生のふれあいは、「あいさつ」くらいだが、「服装がきちんとしていて、とても偉く、子どもが好きで、知識が豊富で、やさしく・親切」と、8～9割の子が思っている。(図1、図2)



2. 人間味のある先生を求める子どもたち

「ユーモアがあり楽しい」「悪いことをすれば、誰にでも同じようにおこる」「一緒に遊んでくれる」ような人間味あふれる先生に教わりたいと子どもたちは思っている。(図4、表1)



5

ち
る
す

6

で



3. 先生を好きが59%、嫌いが13%

先生を好きと答えた子どもは、「わりと」を含めて59%で、嫌いと答えた子どもが「少し」を含めて13%に達した。そして、学年が上がるにつれ、先生を好きという子が減り、嫌いという子が増える。(図5)

4. スポーツ・子どもが好きだが、遊んでくれない先生

「スポーツが好き」「子どもが好き」「ユーモアがある」「忘れ物やきまりに厳しい」「服装がきちんとしている」「熱心に教えてくれる」などの順で、子どもたちの評価は高い。その一方で、「一緒に遊んでくれない」「悩みを話しづらい」と思っている。(図7)

5. 今の先生になって……

今の先生になって、スポーツが好きになり、友だちと遊ぶようになったと思っている子が半数近くいる。そして、学年が下の子ほど先生の影響を受けやすい。(図8、表3)

6. 20代の先生を高く評価

20代の先生は、先生の評価項目18項目中、11項目で一番評価が高かった。(表5)

7. 先生と子どものふれあいは乏しい

子どもから先生への接触は「あいさつ」「話しかける」くらいである。先生からの接触は、子どもからの接触以上に少ない。

そのため、子どもは先生のコトはあまり知らないし、先生からも知られていないと思っている。(図11～図14)



8. 先生との接触の多い子

男子に比べ女子のほうが、先生との接触がやや多く、学年では4年生が最も接触している。接触の多い子は、学校が楽しく、先生が好きで、仲のよい友だちが多く、スポーツや勉強が得意、と自己評価している。(表8、表9)

9. 子どもとの接触が多い先生

男の先生に比べ、女の先生のほうが、「ほめる」などのプラスの接触が多い。20代の先生は、プラスの接触が一番多く、逆に「おこる」などのマイナスの接触は、40～50代の先生が一番多い。(図15、表11)

●調査概要

- 1.調査主題 先生
- 2.調査視点 学校の中で、先生は子どもたちにとってどんな存在なのだろうか。子どもとのかかわりの中で、先生の果たす役割を

- 探っていききたい。
- 3.調査項目 子どもと先生(担任・校長)との接触、子どもの先生評価、子どもと先生の理解の様子、先生の影響と信頼、教えてもらいたい先生、など。

10.
タ
が多
たき
図2

今
こ
特
い
遊
ク
い
術
ン
み
も
持

4.
5.
6.



はじめに

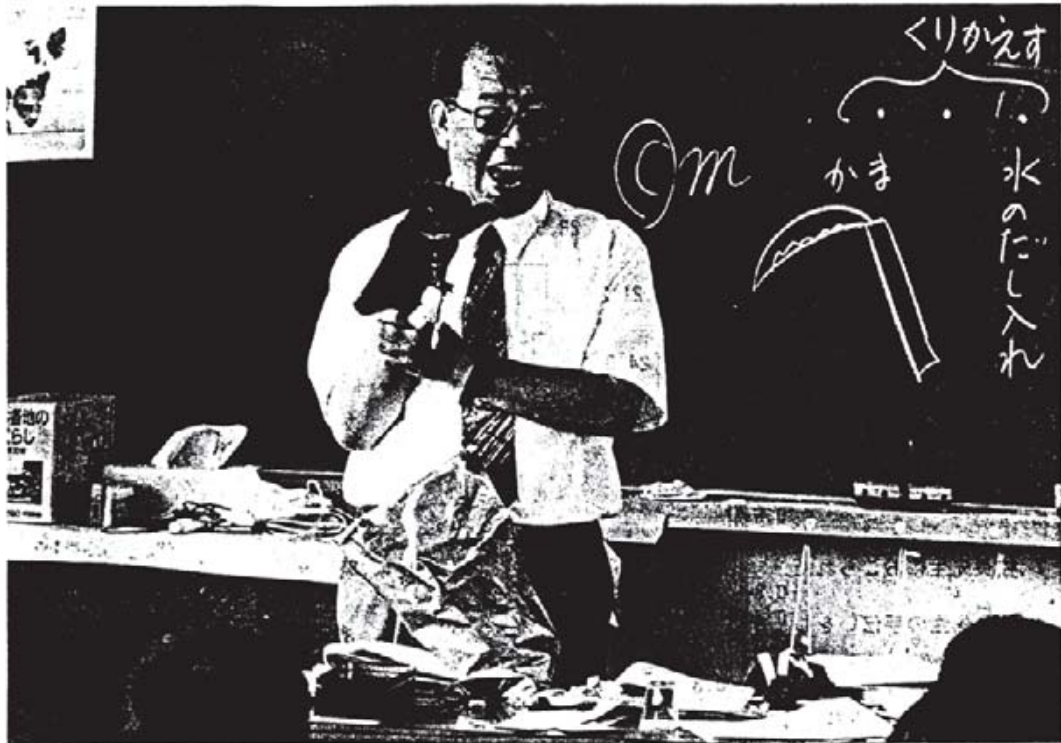
「年度の担任の先生は誰？——女の先生？男の先生？新卒の先生？……？……？」新学期を迎えて、子どもの担任の先生がどんな先生かということは、親たちの最大の関心事である。親も子ども自ら担任の先生を選ぶことができず、子どもたちは好むと好まざるとにかかわらず、一日のほぼ大半を、担任の先生と一緒に過ごすとなれば、親たちが心配するのも無理からぬことであろう。

学校が知識や技術を習得する唯一の場であった頃は、学級担任制をとる小学校では「担任の先生」の、子どもの心のうちに占める割合は、大きいものであった。しかし現在の情報化社会では、学校以外からさまざまな知識や技術を習得でき、子どもの世界には「担任の先生」と「塾の先生」とが、併存するようになってきた。

こうした状況の下で、子どもたちは、親たちが心配するほど担任の先生の影響を受けているのだろうか。子どもたちは、今、担任の先生をどのように評価し、また、先生に対して、どんな期待を抱いているのだろうか。子どもたちの目を通して見た、現在の教師像の一端を明らかにするとともに、それを通して、これからの教師に課せられた課題を少しでも探れればと考えている。



1. 子どもにとっての校長先生



子どもたちから見た担任の先生の報告をする前に、学校の最高責任者であり、また、そ

の学校を代表する校長先生について、少しふれてみたいと思う。

校長先生とのふれあい

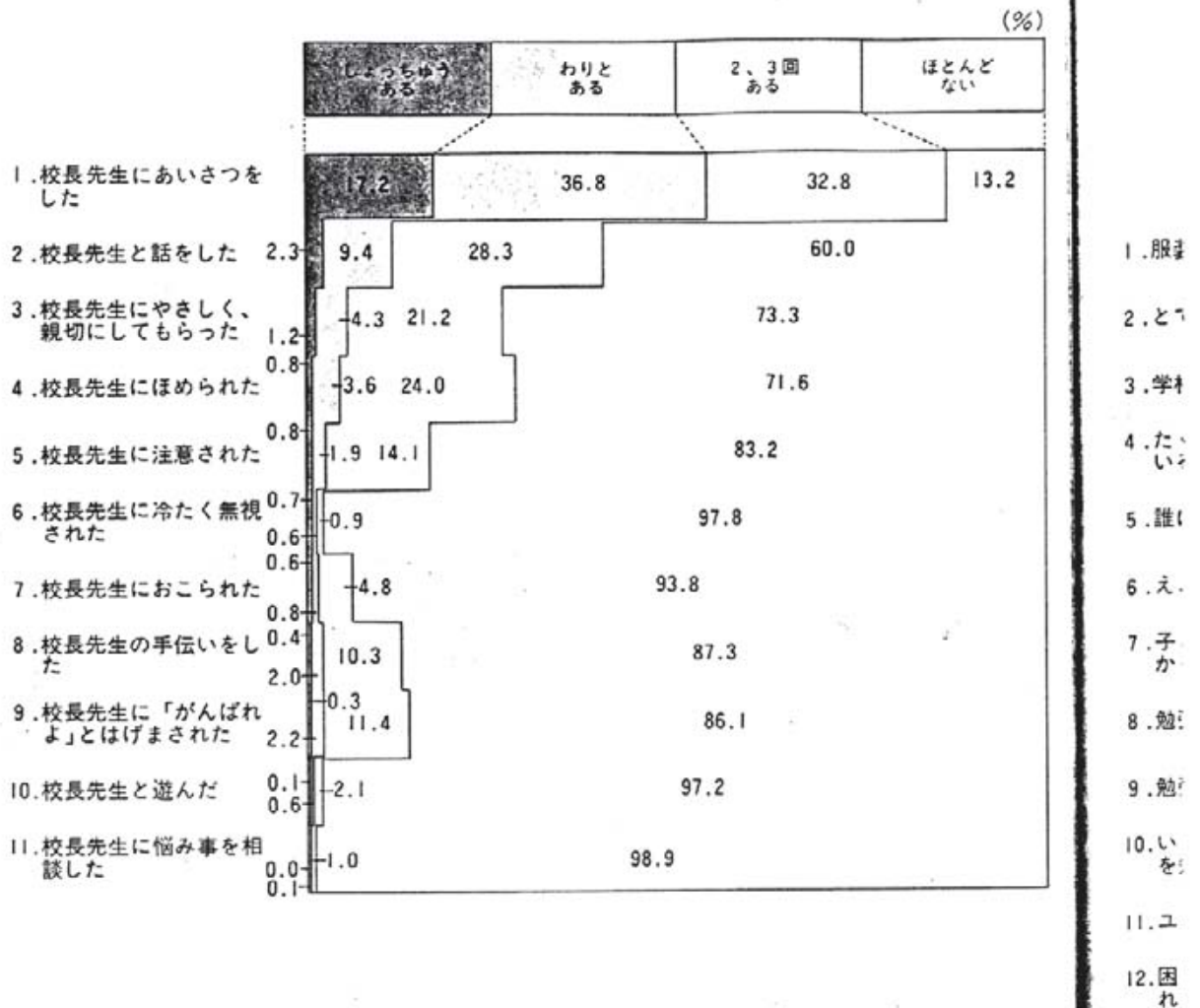
子どもたちは、校長先生とどれくらいかわりを持っているかを調べたのが図1である。これは、子どもからの校長先生に対する具体的な接触行動をみたものである。

図が示すように、校長先生とのかかわりでは、あいさつをわりとする程度で、あとはほとんど接触はない。担任の先生が休むと積極的にそのクラスに行って話をしたり、子どもと一緒に掃除をする校長先生がいることを耳

にするが、多くの校長先生は、データが示すように、一人一人の子どもたちとの接触はほとんどなく、せいぜい朝会や行事等で子どもたち全体に話をするくらいなのであろう。

校長先生にすれば学校への訪問者も多く、また学校の代表者として、さまざまな会合にも出席をしなければならない。子どもたちとの接触を持ちたくても、時間的な余裕がないということなのかもしれない。

図1 校長先生との接触



校長先生のイメージ

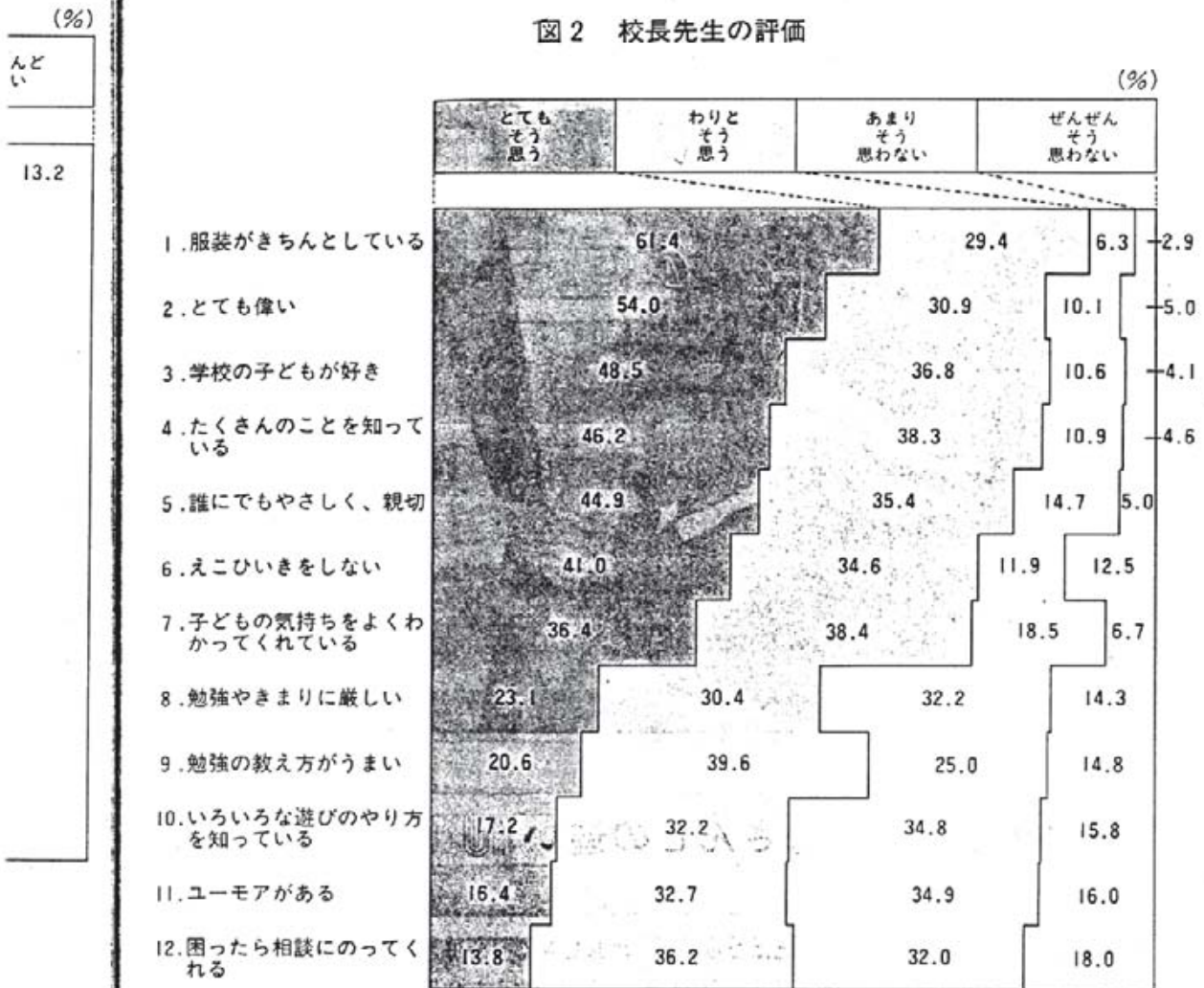
子どもたちとのふれあいがほとんどない校長先生に、子どもたちはどんなイメージを抱いているのだろうか。図2では、校長先生をどう思うかたずねてみた。

子どもたちとのふれあいはほとんどないものの、子どもたちの校長先生の評価は高い。「服装がきちんとしている」をトップに、8～9割の子が、「とても偉い」「学校の子どもが好き」「たくさんを知っている」「誰にでもやさしく、親切」と思っている。以下、「えこひいきをしない」「子どもの気持ちを

よくわかってきている」が続く。

「服装がきちんとしている」「とても偉い」という外見的な評価を除くと、上位に人間味を評価した項目が多い。実際には、あいさつ程度しか接触がなく、子どもたちは校長先生のことをほとんど知らないわけであるから、子どもたちは、校長先生の人間的側面を評価しているというよりは、人間味のある校長先生であってほしいと期待していると解釈したほうがよさそうである。

図2 校長先生の評価



「偉い」人間味いさつ長先生から、を評価校長先積した

2. 子どもが描く担任の先生



お父さん・お母さんとの違い

30歳を過ぎて、一般企業をやめ教師になった人がこんなことを言ったことがある。「企業社会では、経験10年の人と初任の人とでは、職業技術の差が歴然とある。しかし、教師社会では、経験10年、20年という人が、これはという教育技術を持っているようには見えないし、経験の浅い人よりも授業がうまいとも言えない」

この話を聞いたとき、教師は一般的に専門職と言われるが、教師の専門性とは何なのか。プロとアマの教師では、どこが違うのかとずいぶん考えたものである。

高学歴化が進み、大学や短大出の父親、母親が増えてきた現在、小学生の勉強くらい私でも教えられると思っている父母も多いのではないかと思う。そこで、ここでは、「あなた

のお父さん、お母さんが教えたら、どのくらいうまく教えられると思いますか」という質問を子どもたちにぶつけてみた。

その結果が図3である。国語などの主要4教科に目を向けると、「ぜんぜん教えられない」と思っている子は1割強しかいない。「先生よりうまく教えられる」という子も1割強である。また「先生と同じくらい教えられる」まで含めると、一番低いお母さんの理科で34%、一番高いお父さんの算数では52%に達する。

主要教科については、ほとんどの子が、お父さん、お母さんでも、先生と同じか、先生ほどではないが教えられると思っている。では、芸能教科ではどうだろうか。主要教科では父母間にそれほど差はなかったが、芸能教

図3 お父さん・お母さんが教えたら

| | | (%) | | | |
|-------------|---|----------------------|-----------------------|------------------------|----------------|
| | | 先生より うまく 教えられる | 先生と 同じくらい 教えられる | 先生ほど ではないが 教えられる | ぜんぜん 教えられない |
| 国語 | 父 | 8.8 | 25.8 | 53.2 | 12.2 |
| | 母 | 13.9 | 35.4 | 43.9 | 6.8 |
| 社会 | 父 | 13.7 | 28.1 | 45.6 | 12.6 |
| | 母 | 9.5 | 26.6 | 49.5 | 14.4 |
| 算数 | 父 | 20.2 | 31.4 | 36.1 | 12.3 |
| | 母 | 15.4 | 33.3 | 41.7 | 9.6 |
| 理科 | 父 | 12.1 | 21.9 | 47.8 | 18.2 |
| | 母 | 9.0 | 24.9 | 48.8 | 17.3 |
| 音楽 | 父 | 5.4 | 8.7 | 29.7 | 56.2 |
| | 母 | 11.1 | 24.9 | 41.5 | 22.5 |
| 図工 | 父 | 20.1 | 26.4 | 37.2 | 16.3 |
| | 母 | 9.5 | 21.0 | 44.3 | 25.2 |
| 家庭科 | 父 | 7.6 | 12.7 | 35.9 | 43.8 |
| | 母 | 37.6 | 36.7 | 19.3 | 6.4 |
| 体育 | 父 | 21.2 | 27.1 | 32.2 | 19.5 |
| | 母 | 6.7 | 14.3 | 39.5 | 39.5 |
| 道徳 | 父 | 8.8 | 16.2 | 41.5 | 33.5 |
| | 母 | 9.7 | 24.4 | 41.3 | 24.6 |
| 学級会 | 父 | 6.3 | 14.6 | 34.3 | 44.8 |
| | 母 | 6.8 | 18.9 | 39.4 | 34.9 |
| クラブ・ 委員会 | 父 | 9.0 | 14.4 | 37.8 | 38.8 |
| | 母 | 8.0 | 19.0 | 39.7 | 33.3 |
| 朝や帰りの 会 | 父 | 6.2 | 14.3 | 34.8 | 44.7 |
| | 母 | 8.1 | 17.5 | 37.1 | 37.3 |

ら
質長4
しな
「先
強
る」
34
すお
七生
で
斗で
も教

科は、教科により差がみられる。お父さんがお母さんよりうまく教えられると思っている教科は、図工、体育、逆に、お母さんがうまく教えられる教科は、音楽、家庭科ということらしい。「ぜんぜん教えられない」のは、お父さんの音楽（56%）、家庭科（44%）、お母さんの体育（40%）と、主要教科に比べぐっと高い数値を示し、先生との教える力の差を認めているが、お父さん、お母さんの得意教科では、主要教科の場合と同じように、教えられると子どもたちは思っている。

最後に、教科以外の場面についてみてみたい。ここでは、道徳、学級会、クラブ・委員会、朝や帰りの会について尋ねているが、これまでの教科の場合と異なり、「ぜんぜん教えら

れない」という割合が3割から4割と高いのが目につく。「先生よりうまく・先生と同じくらい教えられる」という数値も低い。子どもたちは、教科場面の指導よりも、教科以外の場面での指導に、先生とお父さん、お母さんとの教え方の差を感じているようである。

先生の仕事には、「知識を授ける」と「心を育てる」の二つの役割があるが、現代のように高学歴化、情報化が進んだ社会では、知識の伝達よりも心を育てるという面に先生の指導力を評価していることがデータから言えそうである。言葉を換えれば、授業技術よりも学級経営能力に今の子どもたちは、先生のプロ性を感じていると言えそうである。

子どもの求める先生

それでは、子どもたちはどんな先生を望んでいるのだろうか。図4は、「とてもそう思う」の数値の高い順に整理してあるが、上位にあるのは、第1位の「ユーモアがあり楽しい先生」が69%と断然トップで、以下、「悪いことをすれば、誰にでも同じようにおこる先生」「休み時間、一緒に遊んでくれる先生」「一生懸命勉強を教えてくれる先生」「悩み事を一緒に考えてくれる先生」が40%台で続く。

逆に、嫌われているのは、「忘れ物や整理整頓に厳しい」「必ず掃除を見まわりにくる」など管理に熱心なタイプや、「体育はドッジボールばかり」などの放任型の先生である。

図4では、熱心に教えてくれる先生以上に人間味があり、心と心のふれあいができる先生を求めている子どもたちの姿が明らかになったが、さらに表1で、性差・学年差についてもみてみよう。

表の不等号が示すように、男子と女子では

求める先生のタイプが少し違ってくる。男子の場合は、7の「宿題を出さない」、8の「ゲームやマンガ本を自由に持ってきていい」、9の「教科書を忘れると、貸してくれる」などと、管理面に甘い、自由な先生を求めている。一方女子は、心と心のつながりとともに、4の「一生懸命勉強を教えてくれる」、6の「鉄棒やとび箱ができるまでみてくれる」など、教科指導面にも熱心な先生を求めている。この女子の傾向は4年生にもみられ、6年生になると、きまりにしばられることを嫌い自由さを求める傾向が顕著になっている。

男子と女子、4年生と6年生では、子どもたちの求める先生像に差が見られ、男子や6年生が望むように、なんでも自由にすることが指導上望ましいとはいえないが、今後の先生と子どもの関係を考える上で、心にとめておかなければならないことだろう。

1. ユ生
2. 悪で生
3. 休く
4. 一れ
5. 悩れ
6. 鉄で
7. 宿
8. ケに
9. 影て
10. 括こ
11. す
12. E生
13. 叩手
14. びそ
15. 休
16. 元し

図4 子どもが教えてもらいたい先生

(%)

| | とても そう 思う | わりと そう 思う | 少し そう 思う | ぜんぜん そう 思わない |
|----------------------------|-----------------|-----------------|----------------|--------------------|
| 1. ユーモアがあり楽しい先生 | 69.2 | | 16.8 | 9.8 |
| 2. 悪いことをすれば、誰にでも同じようにおこる先生 | 46.5 | 23.3 | 19.3 | 10.9 |
| 3. 休み時間、一緒に遊んでくれる先生 | 46.0 | 19.2 | 18.3 | 16.5 |
| 4. 一生懸命勉強を教えてくれる先生 | 41.9 | 25.3 | 21.4 | 11.4 |
| 5. 悩み事を一緒に考えてくれる先生 | 40.2 | 21.5 | 22.3 | 16.0 |
| 6. 鉄棒やとび箱ができるまでみてくれる先生 | 39.3 | 28.4 | 21.3 | 11.0 |
| 7. 宿題を出さない先生 | 38.9 | 16.2 | 22.3 | 22.6 |
| 8. ゲームやマンガ本を自由に持ってきていい先生 | 38.9 | 16.0 | 19.1 | 26.0 |
| 9. 教科書を忘れても、貸してくれる先生 | 35.5 | 21.6 | 22.8 | 20.1 |
| 10. 授業中、しゃべってもおこらない先生 | 35.4 | 22.7 | 23.8 | 18.1 |
| 11. すぐ自由時間にする先生 | 28.8 | 13.7 | 25.6 | 31.9 |
| 12. 日記を必ず見てくれる先生 | 24.1 | 16.3 | 25.3 | 34.3 |
| 13. 図工の作品ができないと手伝ってくれる先生 | 23.7 | 24.7 | 26.5 | 25.1 |
| 14. 必ず掃除を見まわりにくる先生 | 18.6 | 21.2 | 32.4 | 27.8 |
| 15. 体育はドッジボールばかりの先生 | 14.6 | 13.0 | 20.7 | 51.7 |
| 16. 忘れ物や整理整頓に厳しい先生 | 13.6 | 23.1 | 38.1 | 25.2 |

いの
同じ
子ど
以外
母さ
る。
「心
のよ
、知
生の
言え
より
生の

男子
「ゲ
、9
など
いる。
、4
「鉄
ど、
。こ
生に
自由
ども
や6
こと
の先
めて

表1 子どもが教えてもらいたい先生×性・学年

(%)

| | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
|----------------------------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 1. ユーモアがあり楽しい先生 | ①67.7 | ①70.6 | ①72.3 | >①66.5 | ①68.1 |
| 2. 悪いことをすれば、誰にでも同じようにおこる先生 | ③44.9 | ②48.0 | 47.1 | ③44.7 | ②47.6 |
| 3. 休み時間、一緒に遊んでくれる先生 | ⑤44.2 | ③47.6 | ②53.7 | >②44.8 | > 37.8 |
| 4. 一生懸命勉強を教えてくれる先生 | 37.3 | <④46.3 | ④48.6 | >⑤38.9 | 36.6 |
| 5. 悩み事を一緒に考えてくれる先生 | 36.9 | <⑤43.6 | ⑤47.8 | > 36.0 | 35.6 |
| 6. 鉄棒やとび箱ができるまでみてくれる先生 | 36.3 | < 42.3 | ③49.2 | > 32.7 | 34.2 |
| 7. 宿題を出さない先生 | ④44.4 | > 33.4 | 33.2 | <④41.3 | ③43.2 |
| 8. ゲームやマンガ本を自由に持ってきていい先生 | ②46.3 | > 31.5 | 38.5 | 38.1 | ④40.0 |
| 9. 教科書を忘れると、貸してくれる先生 | 40.2 | > 30.8 | 37.3 | > 32.5 | 36.2 |
| 10. 授業中、しゃべってもおこらない先生 | 37.8 | > 32.7 | 34.4 | 33.7 | ⑤38.1 |
| 11. すぐ自由時間にする先生 | 32.2 | > 25.4 | 27.6 | 27.5 | 31.5 |
| 12. 日記を必ず見てくれる先生 | 19.3 | < 28.8 | 24.3 | 22.5 | 25.3 |
| 13. 図工の作品ができないと手伝ってくれる先生 | 26.1 | > 21.4 | 26.5 | 22.4 | 21.7 |
| 14. 必ず掃除を見まわりにくる先生 | 18.8 | 18.5 | 28.3 | > 15.0 | 10.7 |
| 15. 体育はドッジボールばかりの先生 | 18.2 | > 10.9 | 19.6 | > 12.6 | 10.6 |
| 16. 忘れ物や整理整頓に厳しい先生 | 14.7 | 12.6 | 17.2 | 14.9 | > 8.0 |

「とてもそう思う」の割合
不等号は5%を単位として差を表す



子どもに過どう先生であまねた1のであり子が嫌クラは子年が嫌い次きか好きとこと子をとみよとのに調区を含近く先生う思

担任の先生の評価

子どもの求める先生像が明らかになったところで、一日のほぼ大半を担当の先生と一緒に過ごしている子どもたちが、担任の先生をどう見ているのかを報告してみたい（担任の先生の性別・年代別のデータは、巻末に掲げられているので、ご覧いただきたい）。

まず、今の担任の先生が好きかどうかを尋ねた結果を、図5に示した。クラスの4分の1の子どもたちは担任の先生が「とても好き」である。「わりと好き」も含めると、6割の子が好意を示している。しかし一方で「とても嫌い」と反感を持っている子どもも6%と、クラスの中に2～3人程度いる。担任の先生は子どもたちにけっこう好かれているが、学年が上がるにつれて、好意を示す子が減り、嫌いという割合が高くなるのが気になる。

次の図6は、担任の先生の得意な教科が好きかどうか尋ねた。クラスの3分の2の子は好きと答え、担任の先生の教科の得意さが、子どもの教科の好き嫌いに影響を与えていることがうかがえる。

子どもたちが自分たちを担当している先生をどう思っているのか、さらに詳しく調べてみよう。ここでは、「授業」「人柄」「子どもとの遊び」など18項目を設定し、子どもたちに評定してもらった。

図7を見ると、「とても・わりとそう思う」を含めた数値は、18項目中9項目が7～8割近くに達し、子どもたちは、けっこう担任の先生を評価しているようである。「とてもそう思う」という評価の高い順に紹介すると、

「スポーツが好き」(43%)、「クラスの子どもが好き」(40%)、「ユーモアがある」(38%)、「忘れ物やきまりに厳しい」(35%)、「服装がきちんとしている」(34%)となる。ここでも、教える先生の姿よりも、先生の人柄、人間味のほうが高く評価されている。さらに図を見ていくと、「人間味があり、勉強も熱心に教えてくれるが、悩み事を話さず、なかなか遊んでくれない」先生像が浮かび上がってくる。先生の日常の姿が、言い当てられた感じがする。

スポーツが好きで、クラスの子どもが好きな先生が多いせいか、図8が示すように、今の先生になってからスポーツが好きになり、友だちと遊ぶようになり、学校へ行くのが楽しくなったと答えている。

また一方で、図9のように「鉄棒やとび箱ができないとき」「勉強の仕方がわからないとき」と、教える先生の側面も信頼している。

さらに、「担任の先生の評価」「子どもの変容」「担任の先生への信頼」を性別・学年別に考察を加えてみたいと思う。

表2～表4を見て気がつくのは、男子に比べ、わずかだが女子のほうが、5、6年生に比べ、大幅に4年生のほうが、担任の先生への評価が高く、担任の先生の影響を強く感じ、信頼しているということである。5、6年生の担任の先生の評価の低さは、どこからくるのだろうか。その点の考察は後で述べることにし、子どもからの評価の高い先生へと話を進めてみたいと思う。

図5 担任の先生は好きか

| | | (%) | | | | |
|---|---|-------|-------|-----------|------|-------|
| | | とても好き | わりと好き | どちらともいえない | 少し嫌い | とても嫌い |
| 全 | 体 | 25.0 | 33.8 | 28.7 | 6.7 | 5.8 |
| 男 | 子 | 20.4 | 34.3 | 31.3 | 7.5 | 6.5 |
| 女 | 子 | 29.7 | 33.2 | 26.1 | 6.0 | 5.0 |
| 4 | 年 | 38.2 | 31.5 | 22.2 | 4.7 | -3.4 |
| 5 | 年 | 19.5 | 37.3 | 29.8 | 6.8 | 6.6 |
| 6 | 年 | 14.8 | 32.9 | 35.3 | 9.2 | 7.8 |

図6 担任の先生の得意な教科は好きか

| | | (%) | | | |
|---|---|-------|-------|----------|-----------|
| | | とても好き | わりと好き | あまり好きでない | ぜんぜん好きでない |
| 全 | 体 | 31.8 | 35.4 | 21.4 | 11.4 |
| 男 | 子 | 33.0 | 33.2 | 20.8 | 13.0 |
| 女 | 子 | 30.7 | 37.6 | 21.9 | 9.8 |
| 4 | 年 | 38.2 | 32.6 | 19.6 | 9.6 |
| 5 | 年 | 28.9 | 35.4 | 22.1 | 13.6 |
| 6 | 年 | 27.3 | 38.8 | 22.7 | 11.2 |

1.ス
2.ク
3.ユ
4.忘
5.服
6.魁
7.え
8.た
9.免
10.ま
11.計
12.衆
13.糸
14.コ
15.信
16.木
17.ノ
18.-

図7 担任の先生の評価

(%)

| | とても そう 思う | わりと そう 思う | あまり そう 思わない | ぜんぜん そう 思わない | |
|-----------------------|-----------------|-----------------|-------------------|--------------------|------|
| 1. スポーツが好き | 42.9 | | 29.1 | 19.9 | 8.1 |
| 2. クラスの子どもが好き | 40.2 | | 38.0 | 15.9 | 5.9 |
| 3. ユーモアがある | 37.9 | | 36.5 | 18.0 | 7.6 |
| 4. 忘れ物やきまりに厳しい | 35.0 | | 37.4 | 21.7 | 5.9 |
| 5. 服装がきちんとしている | 33.8 | | 35.9 | 20.4 | 9.9 |
| 6. 勉強を熱心に教えてくれる | 33.5 | | 44.7 | 17.9 | 3.9 |
| 7. えこひいきをしない | 33.2 | 24.5 | 25.1 | 17.2 | |
| 8. たくさんを知っている | 33.1 | | 43.8 | 19.4 | 3.7 |
| 9. 勉強の教え方がうまい | 33.1 | | 42.7 | 19.7 | 4.5 |
| 10. おそくまで学校で仕事をしている | 30.7 | | 47.1 | 18.1 | 4.1 |
| 11. 誰にでもやさしく、親切 | 29.6 | 36.9 | | 25.8 | 7.7 |
| 12. 勉強のことには厳しい | 23.6 | 30.0 | | 36.2 | 10.2 |
| 13. 約束は必ず守る | 23.4 | 41.7 | | 27.4 | 7.5 |
| 14. 子どもの気持ちをよくわかってくれる | 23.1 | 39.2 | | 29.1 | 8.6 |
| 15. ほかのクラスの人に人気がある | 20.0 | 28.4 | 34.8 | | 16.8 |
| 16. 悩み事を話しやすい | 17.4 | 24.4 | 36.8 | | 21.4 |
| 17. かっこよくてすてき | 15.6 | 24.3 | 29.3 | | 30.8 |
| 18. 一緒に遊んでくれる | 14.5 | 29.3 | 34.7 | | 21.5 |

図8 子どもの変容

(%)

| | とても 少なかった | 少し 少なかった | どちら でもない | あまり そう ならない | ぜんぜん そう ならない | | |
|---------------------|--------------|-------------|-------------|-------------------|--------------------|------|-------|
| 1. スポーツが好きになった | 30.5 | 18.8 | | 31.0 | 8.1 | 11.6 | 1. 鉄と |
| 2. 友だちと遊ぶようになった | 27.4 | 19.1 | | 32.8 | 9.5 | 11.2 | 2. 魁と |
| 3. 学校へ行くのが楽しくなった | 24.4 | 19.4 | | 33.8 | 10.8 | 11.6 | 3. おし |
| 4. 給食を食べるようになった | 21.4 | 15.0 | | 43.5 | 9.2 | 11.0 | 4. 本き |
| 5. 家庭学習をするようになった | 19.6 | 19.2 | 32.1 | | 11.0 | 18.3 | 5. 希き |
| 6. 本をよく読むようになった | 17.9 | 19.9 | 34.6 | | 11.5 | 16.1 | 6. 幸 |
| 7. よく発表するようになった | 17.8 | 21.9 | 29.0 | | 13.7 | 17.6 | 7. 道と |
| 8. 忘れ物をしなくなった | 13.7 | 28.4 | 33.0 | | 12.6 | 12.3 | 8. まと |
| 9. 勉強が好きになった | 12.9 | 27.5 | 35.2 | | 11.7 | 12.7 | |
| 10. 無駄づかいがなくなった | 12.7 | 13.7 | 40.9 | | 13.7 | 19.0 | |
| 11. 手伝いをするようになった | 9.9 | 22.7 | 38.6 | | 14.4 | 14.4 | |
| 12. テレビを見る時間が少なくなった | 8.5 | 14.2 | 33.2 | 17.8 | | 26.3 | |

図9 担任の先生への信頼

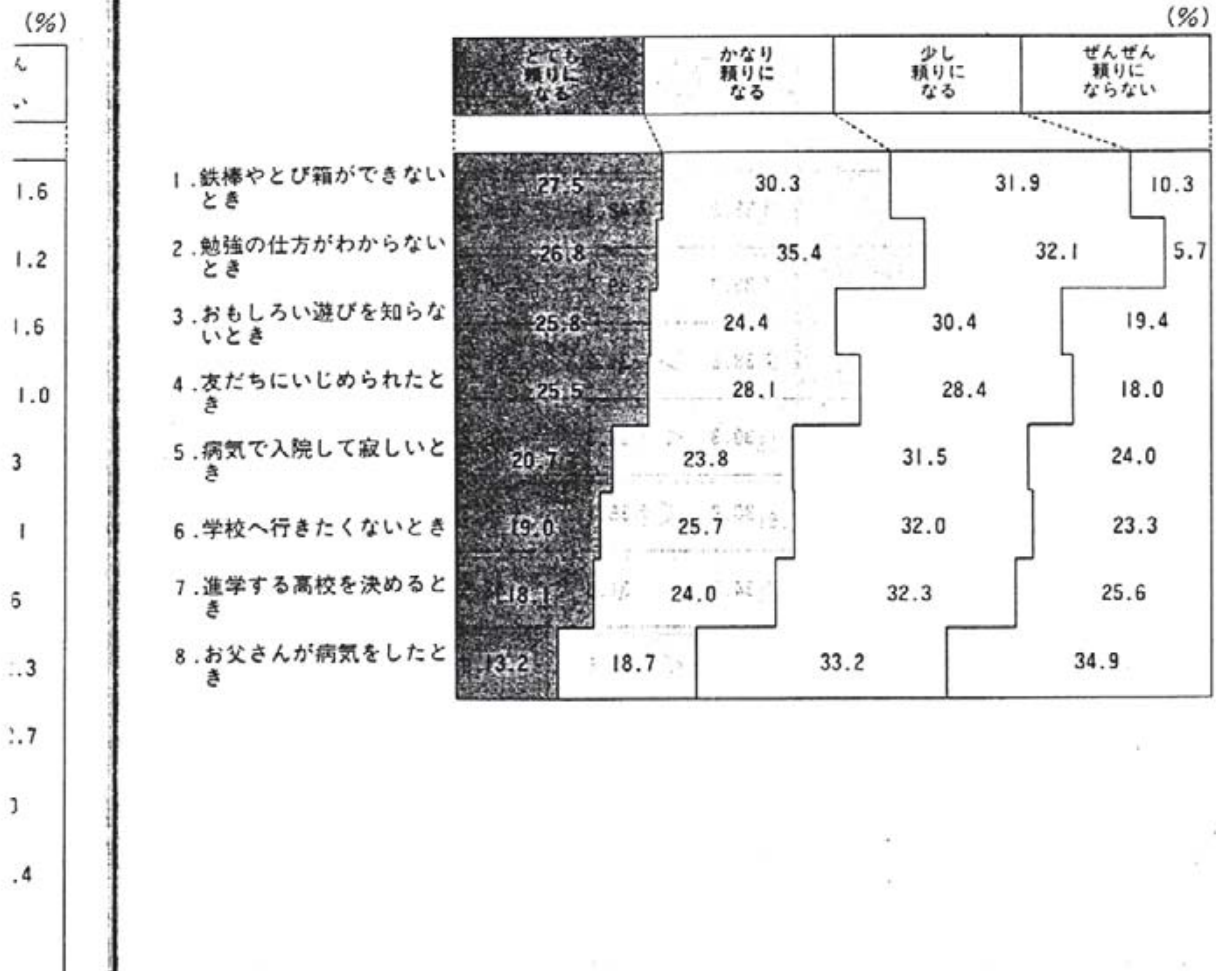


表2 担任の先生の評価×性・学年

(%)

| | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
|-----------------------|---------|-------|----------|---------|-------|
| 1. スポーツが好き | ①42.5 | ①43.3 | ④46.3 > | ②39.2 | ①42.5 |
| 2. クラスの子どもが好き | ③38.2 | ②42.3 | ①56.2 >> | ③36.5 > | 24.6 |
| 3. ユーモアがある | ④36.7 | ③39.0 | ②50.7 >> | 30.8 | ③29.6 |
| 4. 忘れ物やきまりに厳しい | ②38.8 > | 31.2 | 36.2 | ①40.1 > | ④28.5 |
| 5. 服装がきちんとしている | 30.3 < | ④37.3 | 46.2 >> | ⑤30.9 > | 22.0 |
| 6. 勉強を熱心に教えてくれる | 30.9 < | ⑤36.1 | ④46.3 >> | 28.8 > | 23.0 |
| 7. えこひいきをしない | ⑤34.8 | 31.6 | 42.5 > | ④31.9 > | 23.4 |
| 8. たくさんを知っている | 30.7 < | 35.6 | 39.9 > | 27.1 | ②31.0 |
| 9. 勉強の教え方がうまい | 31.1 | 35.0 | ③48.1 >> | 27.3 > | 21.0 |
| 10. おそくまで学校で仕事をしている | 29.7 | 31.6 | 37.8 > | 24.3 | ④28.5 |
| 11. 誰にでもやさしく、親切 | 26.7 < | 32.4 | 43.8 >> | 23.7 > | 18.4 |
| 12. 勉強のことには厳しい | 26.3 > | 20.9 | 26.6 | 25.0 > | 18.6 |
| 13. 約束は必ず守る | 23.5 | 23.2 | 35.1 >> | 19.0 > | 13.6 |
| 14. 子どもの気持ちをよくわかってくれる | 19.9 < | 26.2 | 33.9 >> | 17.6 | 15.7 |
| 15. ほかのクラスの人に人気がある | 17.7 < | 22.3 | 31.2 >> | 13.0 | 13.7 |
| 16. 悩み事を話しやすい | 16.2 | 18.6 | 25.5 > | 13.5 | 11.8 |
| 17. カッコよくてすてき | 14.3 | 16.8 | 24.3 > | 12.4 | 8.2 |
| 18. 一緒に遊んでくれる | 13.3 | 15.7 | 22.4 > | 10.3 | 9.3 |

「とてもそう思う」の割合
不等号は5%を単位として差を表す

表3 子どもの変容×性・学年

| 年 | 変容 | 性 | | 学年 | | |
|---|--------------------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
| 5 | 1.スポーツが好きになった | ①33.6 | >②27.4 | ①40.7 | >①26.0 | ①22.9 |
| 6 | 2.友だちと遊ぶようになった | ②29.6 | ③25.3 | ②37.2 | >②21.7 | ②21.7 |
| 6 | 3.学校へ行くのが楽しくなった | ④20.1 | <①28.7 | ③32.5 | >③20.5 | ③18.8 |
| 5 | 4.給食を食べるようになった | ③23.4 | ⑤19.2 | ④29.5 | >16.5 | ④16.4 |
| 0 | 5.家庭学習をするようになった | 16.5 | <④22.3 | 25.0 | >⑤17.6 | ⑤14.6 |
| 0 | 6.本をよく読むようになった | 16.6 | 19.1 | 21.6 | ④19.3 | >11.9 |
| 4 | 7.よく発表するようになった | ⑤19.1 | 16.5 | ⑤26.4 | >15.9 | >9.3 |
| 0 | 8.忘れ物をしなくなった | 11.7 | 15.8 | 16.4 | 14.5 | >9.7 |
| 0 | 9.勉強が好きになった | 11.4 | 14.5 | 20.3 | >9.8 | 7.3 |
| 5 | 10.無駄づかいがなくなった | 13.5 | 11.8 | 19.7 | >10.2 | 6.9 |
| 4 | 11.手伝いをするようになった | 8.9 | 10.9 | 15.3 | >7.9 | 5.5 |
| 6 | 12.テレビを見る時間が少なくなった | 8.6 | 8.4 | 9.1 | 8.8 | 7.5 |

「とてもそうなった」の割合
不等号は5%を単位として差を表す

表4 担任の先生への信頼×性・学年

(%)

| | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
|-------------------|------|--------|------|--------|--------|
| 1. 鉄棒やとび箱ができないとき | 27.4 | 27.6 | 41.2 | ➤ 18.5 | 20.4 |
| 2. 勉強の仕方がわからないとき | 25.7 | 28.0 | 35.4 | > 22.9 | 20.6 |
| 3. おもしろい遊びを知らないとき | 24.3 | 27.3 | 39.8 | ➤ 19.2 | 15.9 |
| 4. 友だちにいじめられたとき | 22.6 | < 28.3 | 35.1 | > 23.4 | > 16.3 |
| 5. 病気で入院して寂しいとき | 18.9 | 22.7 | 37.8 | ➤ 13.7 | > 8.8 |
| 6. 学校へ行きたくないとき | 18.2 | 19.9 | 29.6 | ➤ 13.8 | 11.9 |
| 7. 進学する高校を決めるとき | 14.6 | < 21.7 | 24.2 | > 15.9 | 13.9 |
| 8. お父さんが病気をしたとき | 11.5 | 14.8 | 20.8 | > 10.4 | 7.2 |

「とても頼りになる」の割合
不等号は5%を単位として差を表す



この
的特
図10
を見
親た
子ど
「ス
ばな
女の
次の
の評
だき
11項
次に
「た
え方
って
「知
備え
とい
のま
さと
指導
いる
後半
かな
点て
であ
不可
50代
であ
がつ
い」

子どもの評価の高い先生

ここでは、先生の側の要因といっても個人的特性でなく、性や年齢に限定したいと思う。図10は、担任の先生の評価と先生の性の関係を見たものである。男の先生と女の先生では、親たちの評価が違うと言われることもあるが、子どもたちの評価はどうであろうか。1の「スポーツが好き」は、男の先生に遠くおよばないが、全体で見ると18項目中、13項目で女の先生のほうが、子どもたちの評価は高い。

次に、担任の先生の年齢によって、子どもの評価が変わるのだろうか。表5をご覧ください。表中の○印に注目すると、18項目中11項目と、圧倒的に20代の先生の評価が高い。次に30代前半の先生は、「ユーモアがある」「たくさんを知っている」「勉強の教え方がうまい」「子どもの気持ちをよくわかってくれる」などの項目で評価が最も高く、「知識を授ける」と「心を育てる」の両面を備え、かつ子どもの求める「ユーモアがある」という、子どもが教えてもらいたい先生、そのままの評価を子どもたちから得ている。若さと情熱あふれる20代の先生が研修を積み、指導技術を学び、30代になり一番油が乗っているときなのだろう。こう考えてくると、30代後半の先生は、若さと情熱では20代の先生にかなわないかもしれないが、教育技術という点では、30代前半の先生より優れているはずである。しかし、子どもたちの評価は可もなく不可もなくという評価である。さらに、40～50代の先生に目を移すと、一番評価の低い印である——線が14項目にもついている。○印がついているのは、「忘れ物やきまりに厳しい」「勉強のことには厳しい」と厳しさだけ

が評価されている。ベテラン教師に対する子どもたちの目は厳しい。

表6、表7では、子どもの変容と担任の先生への信頼と先生の性・年齢の関係について考察を進めてみた。ここでも、担任の先生の評価とほぼ同様の結果がでてきている。

特に表7の担任の先生への信頼では、若い先生とベテラン先生の差がもっとはっきりしてくる。全ての項目でベテラン先生への信頼は最も低く、若い20代、30代前半の先生への信頼度が高い。なかでも「友だちにいじめられたとき」「進学する高校を決めるとき」「お父さんが病気をしたとき」など、子どもたちが本当に悩み、困ったと思えるときに30代前半の先生を頼りにしているのが印象的であった。30代前半の先生の教育への姿勢と実力を、子どもたちもどこかで感じるのだろうか。

新学期の担任発表のとき、お母さん方がちょっぴり眉をひそめそうな「若い、女の先生」が、子どもたちから最も高い評価を受けていた。経験豊富で教育技術が最も優れているはずのベテラン先生よりも、学校推進の原動力的に活動していると思われる30代後半の先生や油が乗ってきた30代前半の先生よりも、先生としてはまだまだ未熟な20代の女の先生が評価されているということは、経験を積んだ先生たちにとってはショックなことだと思う。若いというだけで子どもに人気があるだけだろうと一笑に付さず、経験豊富な教師が子どもたちの求める人間的コンタクトを持っているかと問い直す必要があるのではないだろうか。

図10 担任の先生の評価×先生の性

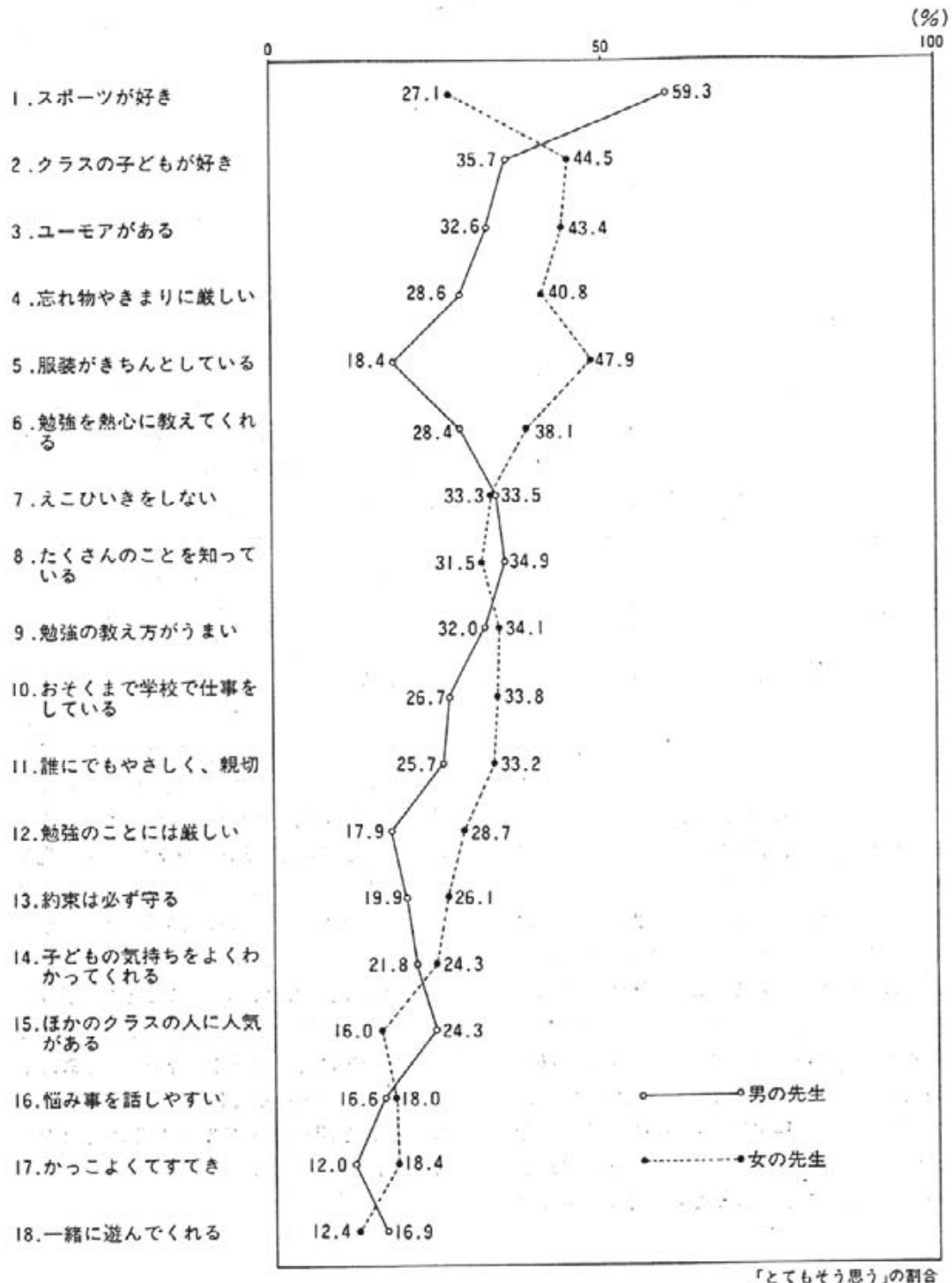


表5 担任の先生の評価×先生の年齢

| | 20代 | 30代前半 | 30代後半 | 40代～50代 |
|----------------------|----------|----------|--------|----------|
| 1.スポーツが好き | ① (58.4) | ① 51.6 | 31.5 | ⑤ 30.1 |
| 2.クラスの子どもが好き | ② (49.5) | ③ 42.9 | ② 36.2 | ③ 31.8 |
| 3.ユーモアがある | 38.2 | ② (46.0) | ③ 35.5 | 28.4 |
| 4.忘れ物やきまりに厳しい | 30.8 | 28.4 | ① 36.4 | ① (52.3) |
| 5.服装がきちんとしている | ③ (43.5) | ④ 38.0 | 26.8 | ⑤ 30.1 |
| 6.勉強を熱心に教えてくれる | ④ (39.2) | 36.9 | 30.0 | 27.6 |
| 7.えこひいきをしない | ⑤ (38.3) | ⑤ 37.9 | 29.7 | 26.0 |
| 8.たくさんを知っている | 28.7 | ③ (37.8) | ⑤ 33.0 | ④ 30.8 |
| 9.勉強の教え方がうまい | 32.8 | ③ (36.7) | ④ 33.1 | 28.1 |
| 10.おそくまで学校で仕事をしている | ③ (35.8) | 29.6 | 29.5 | 28.4 |
| 11.誰にでもやさしく、親切 | ③ (36.0) | 34.2 | 25.1 | 23.1 |
| 12.勉強のことには厳しい | 20.5 | 16.8 | 26.0 | ② (36.4) |
| 13.約束は必ず守る | 24.8 | ② (26.6) | 22.0 | 19.0 |
| 14.子どもの気持ちをよくわかってくれる | 26.1 | ② (26.8) | 21.9 | 14.3 |
| 15.ほかのクラスの人に人気がある | ② (26.9) | 25.6 | 16.3 | 8.2 |
| 16.悩み事を話しやすい | ② (21.5) | 20.1 | 14.3 | 13.8 |
| 17.かっこよくてすてき | ② (23.7) | 17.9 | 11.8 | 8.2 |
| 18.一緒に遊んでくれる | ② (29.6) | 14.5 | 9.1 | 5.1 |

「とてもそう思う」の割合

○は最大値
—は最小値(%)
100

(%)

割合

表7 担任の先生への信頼×先生の性と年齢

| (%) | | | | | | | (%) |
|-----------|-------------------|--------|------|--------|--------|-------|-------------|
| 代～ 50代 | | 男 | 女 | 20代 | 30代前半 | 30代後半 | 40代～ 50代 |
| 8.4 | 1. 鉄棒やとび箱ができないとき | 31.4 > | 23.7 | (35.4) | 27.9 | 27.9 | 14.4 |
| 7.2 | 2. 勉強の仕方がわからないとき | 22.9 < | 30.4 | (31.5) | 29.5 | 24.3 | 22.6 |
| 5.9 | 3. おもしろい遊びを知らないとき | 28.1 > | 23.4 | (35.8) | 26.8 | 24.4 | 12.4 |
| 7.7 | 4. 友だちにいじめられたとき | 24.3 | 26.3 | 25.8 | (30.3) | 23.7 | 20.8 |
| 7.9 | 5. 病気で入院して寂しいとき | 15.9 < | 25.1 | (27.7) | 25.6 | 16.6 | 10.9 |
| 1.5 | 6. 学校へ行きたくないとき | 16.6 < | 21.2 | (20.4) | 20.2 | 19.8 | 13.5 |
| 0.9 | 7. 進学する高校を決めるとき | 15.8 | 19.9 | 17.6 | (22.4) | 16.5 | 15.3 |
| 2.8 | 8. お父さんが病気をしたとき | 11.8 | 13.9 | 13.5 | (16.4) | 12.6 | 7.9 |

「とても頼りになる」の割合
不等号は5%を単位として差を表す(性別)

○は最大値
—は最小値
(年代別)

↑最大値
↓最小値
(年代別)

3. 先生と子どものコミュニケーション



ことカ
清掃時
こるよ
うな態
ている
もうと
がえる
背景に
な雑月
子ども
るので
先生
ようと

先生と子どものふれあい

毎日子どもたちと接している先生であるが、その具体的な接触状況を探ってみることにしよう。

まず、子どもから担任の先生に対する接触行動をみてみることにする。図11は、その結果である。図が示すように、「先生にあいさつをした」「先生に話しかけた」という子は「しよちゅう・わりとある」を含めると7～8割と多いが、逆に、先生との人間的なふれあいが強い項目の「先生に困ったことを相談に行った」「先生を遊びにさそった」ことが「ほとんどない」子が7～8割近くいる。全体的にみても、子どもから担任の先生への接触は少ない。毎日顔を合わせているといっても、それは一斉授業という学習場面に限られており、それ以外の場面ではあまり接触し

ていないのである。

さらに、担任の先生の側から子どもたちへの接触を図12に示した。全体的に見て、担任の先生からの接触は子どもたちからの接触以上に少ないことがわかる。「しよちゅうある」の割合を見ると、トップの「一緒に給食を食べてくれた」でさえ19%と2割にも満たず、その他は1割かそれ以下である。「わりとある」を含めると、5割に達する項目は1つもない。

だがその接触内容をみていくと、上位には「一緒に給食を食べてくれた」「声をかけてくれた」「一緒に掃除や仕事をしてくれた」「ノートを見てアドバイスしてくれた」などのプラスの接触が多く、「気にしていることを言われた」「冷たく無視された」などのマイナスの接触は下位に集中している。この

1. 先
2. 先
3. 授
た
4. 休
行
5. 先
6. 先
質
7. 先
に
8. 先
を
9. 先
10. 先
に

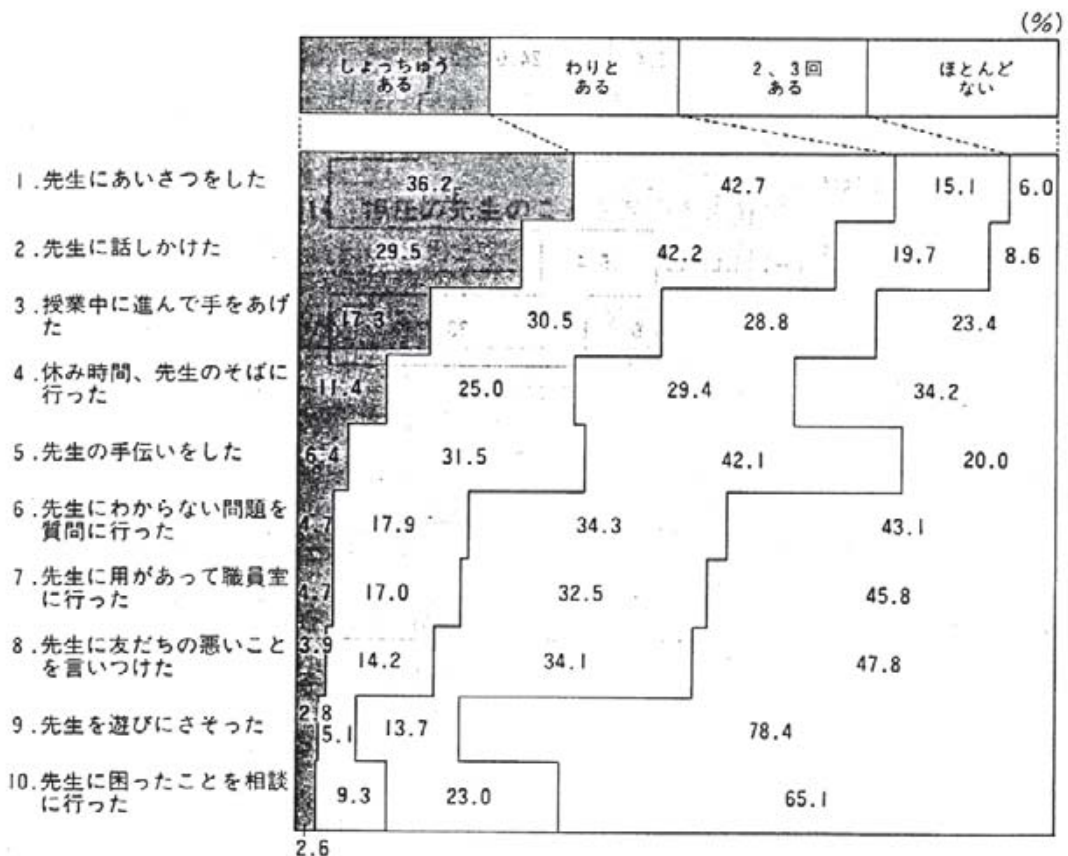
ことから先生たちは、授業場面以外の給食や清掃時間に、「少しでも一緒に活動しよう」「おこるよりほめよう」「子どもの心を傷つけるような態度はとらないようにしよう」と心がけているようである。いつも子どもとともに歩もうという先生たちの日常の教育姿勢がうかがえる。にもかかわらず接触が極めて少ない背景には、たくさんの教科を教え、さまざまな雑用や会議に追われ、昼休みや放課後さえ子どもたちと一緒にいられない学校事情があるのではないだろうか。

先生が子どもたちとのふれあいを大切にしようという姿勢をみせていても、絶対的な接

触の少なさはカバーできないようである。このような接触の少なさがもたらす結果として表れてきたものが、図13、図14である。これは、子どもたちが担任の先生からどれくらい知られていると思うかと、逆に、担任の先生のことをどれくらい知っているかを尋ねたものである。

子どもたちは、担任の先生は自分のことをあまり知らないが、仲よしの友だちの名前くらいは知っていると思っている。また、子どもたちも先生の年齢や得意な勉強くらいしか知らないのである。

図11 子どもからの接触



「担任以上ある」と食す、そある」ない。にはかけてした」この

図12 担任の先生からの接触

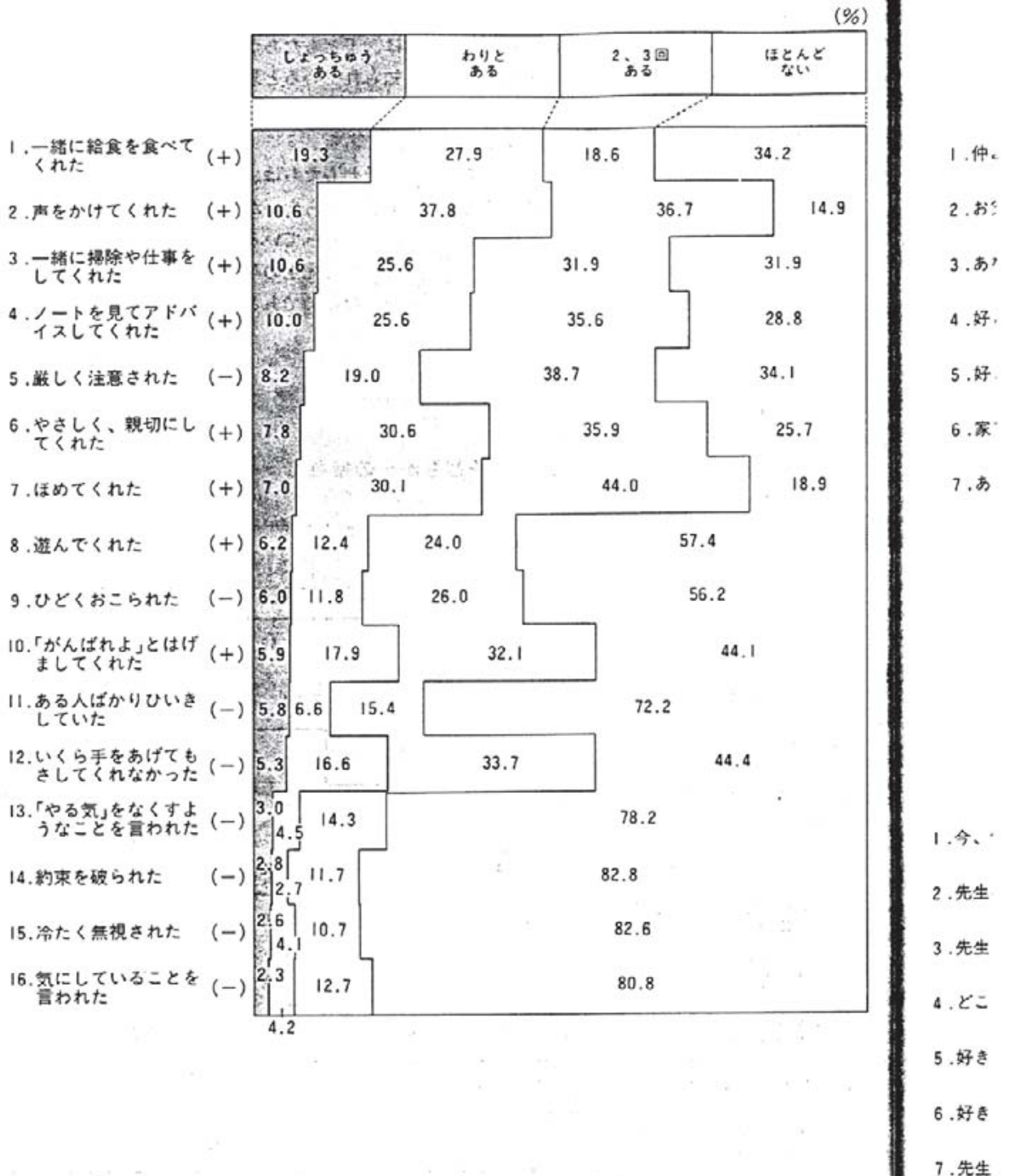


図13 担任の先生は知っているか

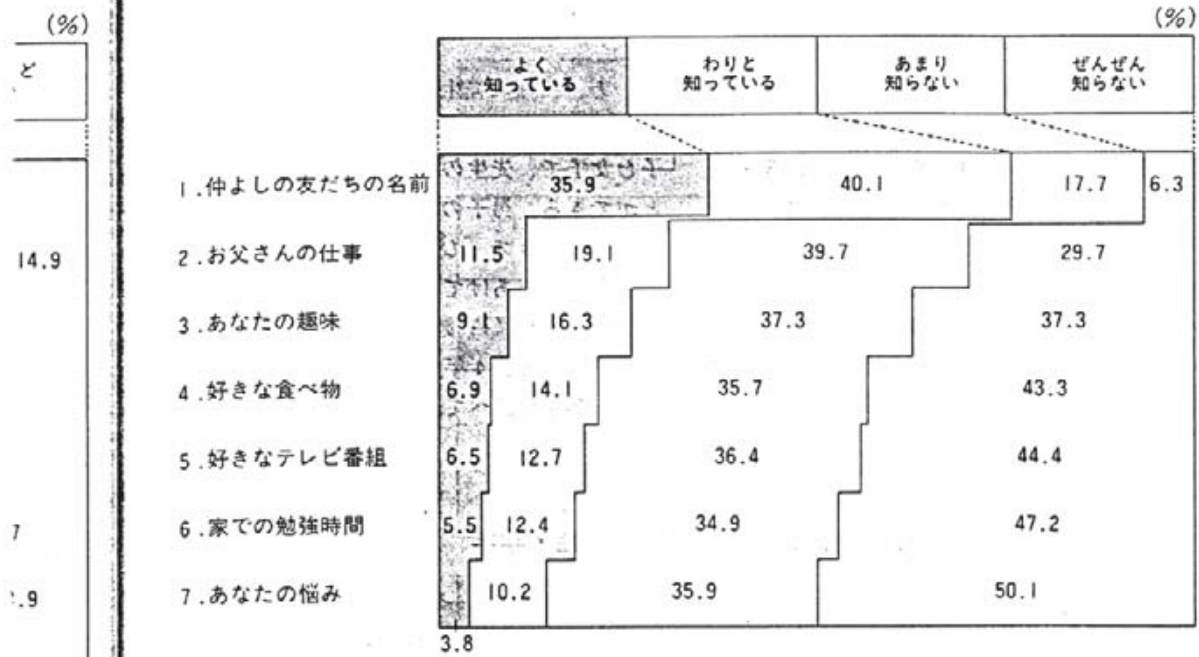
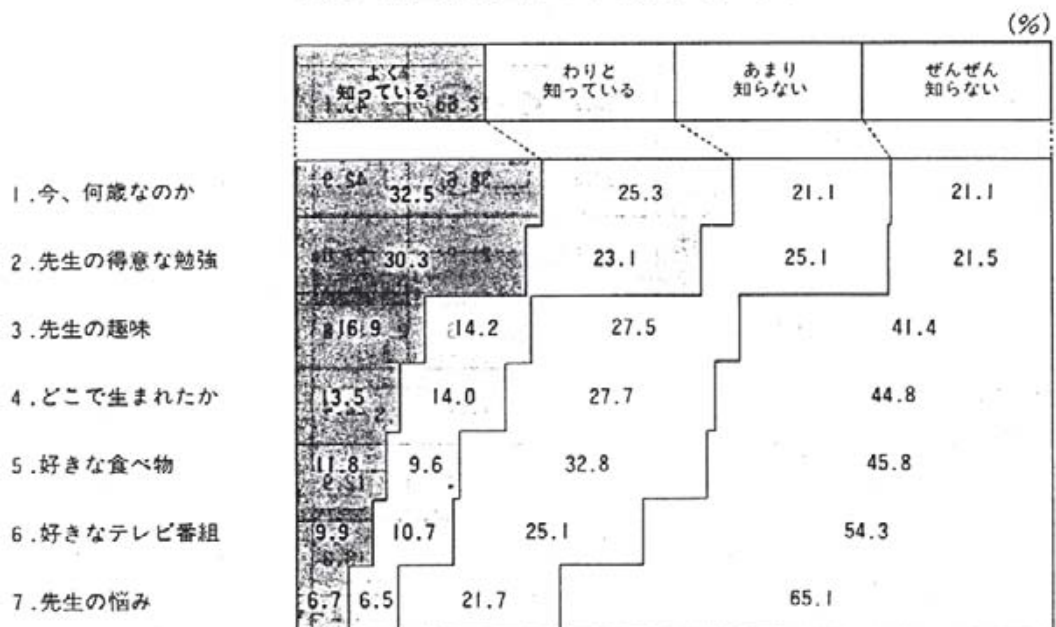


図14 担任の先生のことを知っているか



先生とのふれあいの多い子

子どもと担任の先生との接触は少なかったが、どんな子が先生とのふれあいを求めて積極的に先生のところへ行くのだろう。表8をみると、そういう子は男子よりも女子に多く、学年でいうと4年生だということがわかる。さらに表9で、そんな子どもたちのプロフィールを調べると、学校に来るのを楽しみにしていて、担任の先生が好きで、仲のよい友だちが多く、スポーツ・勉強が得意な子だといえる。

一方、担任の先生は、どんな子とどんな接触を多くしているのだろう。表10からは、男子と女子で、先生の接触の違いを指摘することができる。男子の場合、5の「厳しく注意された」、9の「ひどくおこられた」、12の「いくら手をあげてもさしてくれなかった」というマイナスの接触の数値が高い。学年差をみていくと、4年生ではプラスの接触の数値が6年生に比べて高く、逆に6年生は、マ

表8 子どもからの接触×性・学年

(%)

| | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
|---------------------|------|--------|------|--------|---------|
| 1.先生にあいさつをした | 73.3 | < 84.4 | 78.3 | 77.9 | 80.6 |
| 2.先生に話しかけた | 69.4 | < 74.1 | 77.6 | > 71.3 | > 65.3 |
| 3.授業中に進んで手をあげた | 52.8 | > 42.6 | 57.7 | > 49.8 | >> 33.8 |
| 4.休み時間、先生のそばに行った | 30.2 | < 42.6 | 45.1 | > 34.0 | > 28.5 |
| 5.先生の手伝いをした | 37.3 | 38.6 | 42.9 | > 34.4 | 35.6 |
| 6.先生にわからない問題を質問に行った | 23.9 | 21.2 | 27.0 | > 21.2 | 18.6 |
| 7.先生に用があって職員室に行った | 18.0 | < 25.3 | 19.8 | 21.8 | 23.7 |
| 8.先生に友だちの悪いことを言いつけた | 18.6 | 17.7 | 22.4 | 18.0 | > 13.3 |
| 9.先生を遊びにさそった | 7.3 | 8.4 | 12.9 | > 7.3 | > 2.4 |
| 10.先生に困ったことを相談に行った | 11.0 | 12.7 | 18.3 | > 9.6 | 6.4 |

「しよっちゅうある+わりとある」の割合
不等号は5%を単位として差を表す

表9 子どものフェイス×子どもからの接触

(%)

① 学校に来るのが

| | とても 楽しみ | わりと 楽しみ | どちらとも いえない | あまり 楽しくない | ぜんぜん 楽しくない |
|-------|-------------|------------|---------------|--------------|---------------|
| 接 触 多 | 37.2 | 32.9 | 21.1 | 5.3 | 3.5 |
| | └── 70.1 ─┘ | | | └── 8.8 ─┘ | |
| 接 触 少 | 13.3 | 29.8 | 36.5 | 11.6 | 8.8 |
| | └── 43.1 ─┘ | | | └── 20.4 ─┘ | |

② 担任の先生が

| | とても好き | わりと好き | どちらとも いえない | 少し嫌い | とても嫌い |
|-------|-------------|-------|---------------|-------------|-------|
| 接 触 多 | 43.6 | 31.3 | 18.6 | 3.9 | 2.6 |
| | └── 74.9 ─┘ | | | └── 6.5 ─┘ | |
| 接 触 少 | 8.8 | 32.8 | 40.2 | 9.0 | 9.2 |
| | └── 41.6 ─┘ | | | └── 18.2 ─┘ | |

③ 仲のよい友だちが

| | とても多い | わりと多い | どちらとも いえない | わりと 少ない | とても 少ない |
|-------|-------------|-------|---------------|-------------|------------|
| 接 触 多 | 40.8 | 39.7 | 13.2 | 3.5 | 2.8 |
| | └── 80.5 ─┘ | | | └── 6.3 ─┘ | |
| 接 触 少 | 17.2 | 39.6 | 27.7 | 10.3 | 5.2 |
| | └── 56.8 ─┘ | | | └── 15.5 ─┘ | |

④ スポーツが

| | とても得意 | わりと得意 | どちらとも いえない | わりと 苦手 | とても 苦手 |
|-------|-------------|-------|---------------|-------------|-----------|
| 接 触 多 | 33.4 | 29.7 | 21.6 | 11.1 | 4.2 |
| | └── 63.1 ─┘ | | | └── 15.3 ─┘ | |
| 接 触 少 | 17.1 | 25.3 | 27.8 | 18.0 | 11.8 |
| | └── 42.4 ─┘ | | | └── 29.8 ─┘ | |

⑤ 勉強の成績が

| | とても 上のほう | やや 上のほう | 中くらい | やや 下のほう | ずっと 下のほう |
|-------|-------------|------------|------|-------------|-------------|
| 接 触 多 | 10.5 | 26.0 | 49.4 | 8.8 | 5.3 |
| | └── 36.5 ─┘ | | | └── 14.1 ─┘ | |
| 接 触 少 | 2.4 | 9.2 | 50.3 | 25.4 | 12.7 |
| | └── 11.6 ─┘ | | | └── 38.1 ─┘ | |

⑥ テレビを

| | とてもよく 見る | わりと 見る | どちらとも いえない | あまり 見ない | ぜんぜん 見ない |
|-------|-------------|-----------|---------------|-------------|-------------|
| 接 触 多 | 32.1 | 34.8 | 17.7 | 11.9 | 3.5 |
| | └── 66.9 ─┘ | | | └── 15.4 ─┘ | |
| 接 触 少 | 36.3 | 34.7 | 16.3 | 10.1 | 2.6 |
| | └── 71.0 ─┘ | | | └── 12.7 ─┘ | |

しな接
ま、男
するこ
く注意
12の
った」
半年差
虫の数
よ、マ

(%)

年
6
3
8
5
6
6
7
3
4
4
の割合
は

表10 担任の先生からの接触×性・学年

(%)

| | 男子 | 女子 | 4年 | 5年 | 6年 |
|------------------------|------|------|------|------|------|
| 1.一緒に給食を食べてくれた | 48.7 | 45.6 | 60.1 | 43.9 | 35.0 |
| 2.声をかけてくれた | 47.2 | 49.7 | 54.8 | 48.6 | 40.7 |
| 3.一緒に掃除や仕事をしてくれた | 35.3 | 37.1 | 45.7 | 28.7 | 32.7 |
| 4.ノートを見てアドバイスしてくれた | 35.3 | 35.8 | 40.6 | 31.7 | 33.5 |
| 5.厳しく注意された | 39.2 | 15.1 | 23.0 | 26.0 | 33.1 |
| 6.やさしく親切にしてくれた | 35.0 | 41.9 | 48.3 | 35.2 | 29.9 |
| 7.ほめてくれた | 37.6 | 36.7 | 52.2 | 32.7 | 23.5 |
| 8.遊んでくれた | 18.3 | 19.0 | 28.8 | 15.8 | 9.4 |
| 9.ひどくおこられた | 26.4 | 9.2 | 13.4 | 18.3 | 22.5 |
| 10.「がんばれよ」とはげましてくれた | 23.8 | 23.6 | 29.0 | 22.5 | 18.5 |
| 11.ある人ばかりひいきしていた | 12.9 | 11.9 | 6.3 | 14.8 | 17.1 |
| 12.いくら手をあげてもさしてくれなかった | 26.9 | 16.8 | 27.0 | 19.7 | 17.9 |
| 13.「やる気」をなくすようなことを言われた | 9.3 | 5.6 | 5.9 | 7.8 | 8.9 |
| 14.約束を破られた | 7.3 | 3.7 | 6.3 | 5.0 | 5.1 |
| 15.冷たく無視された | 7.7 | 5.8 | 6.4 | 5.5 | 8.5 |
| 16.気にしていることを言われた | 6.6 | 6.4 | 5.2 | 6.6 | 8.0 |

「しよつちゆうある+わりとある」の割合
不等号は5%を単位として差を表す

イナ
が多
6
も子
子ど
だか



子
は関
量で
ども
が、
男
のマ
いか
の先
先
が、
のこ
の多
ある
20代
など
50代
く注
接触
あい

マイナスの接触の数値が4年生よりも高いものが多い。

6年生になると、対外的行事も増え、先生も子どもも忙しくなる。そうになると、先生と子どもの接触は少なくなり、一方、最高学年だからと先生の要求は高くなる。当然おこら

れることも多くなり、このような結果が出たと思われる。そして、この接触量の少なさと少ない接触量の中に占めるマイナスの接触の多さが、6年生の担任の先生の評価の低さと結びついているのではないかと思える。

子どもとのふれあいの多い先生

子どもたちの接触量と担任の先生の評価には関連がみられたが、先生の子どもの接触量でも同じようなことがいえるだろうか。子どもとの接触の多い先生について調べた結果が、図15、表11である。

男の先生と女の先生では、「おこる」などのマイナスの接触ではほとんど差がみられないが、「ほめる」などのプラスの接触は、女の先生のほうが多いことが図15からわかる。

先生の年齢と接触量の関係は表11の通りだが、非常に興味深い結果を示している。表中の○印に注目してほしい。子どもとの接触量の多い先生は、20代の先生と40～50代の先生である。しかし、その内容は全く対照的である。20代の先生の接触は、「声をかける」「ほめる」などのプラスの接触の割合が高く、逆に40～50代の先生の接触の割合が高いのは、「厳しく注意」「ひどくおこる」などのマイナスの接触ばかりである。これでは、心と心のふれあいを求める今の子どもたちの担任の先生の

評価が、20代の先生が最もよく、40～50代の先生が低くなるのもうなずける。30代前半の先生はマイナスの接触が一番少なく、子どもたちと好ましい接触をしているものの、校務が忙しくなりはじめたのか、プラスの接触量が20代の先生に比べると少ない。そのために、子どもたちからの評価はよいが、20代の先生ほどの評価は得られないのだろう。30代後半の先生になると、子どもたちの接触状況が特に好ましいわけではないが、かといってマイナスの接触をしているわけでもない。子どもたちも、可もなく不可もなくの評価をせざるを得ないのだろう。働き盛りで、学校推進の原動力的な働きをしている30代後半の先生が、本来なら子どもたちから最もよい評価を受けてもいいのかもしれないが、このように子どもたちとの接触の少なさをみると、学校の仕事と子どもたちとのふれあいの谷間でジレンマを感じている先生の姿が浮かび上がってくる。

(%)

年

.0

.7

.7

.5

.1

.9

.5

.4

.5

.5

.1

.9

.9

.1

.5

.0

の割合
です

図15 担任の先生からの接触×先生の性

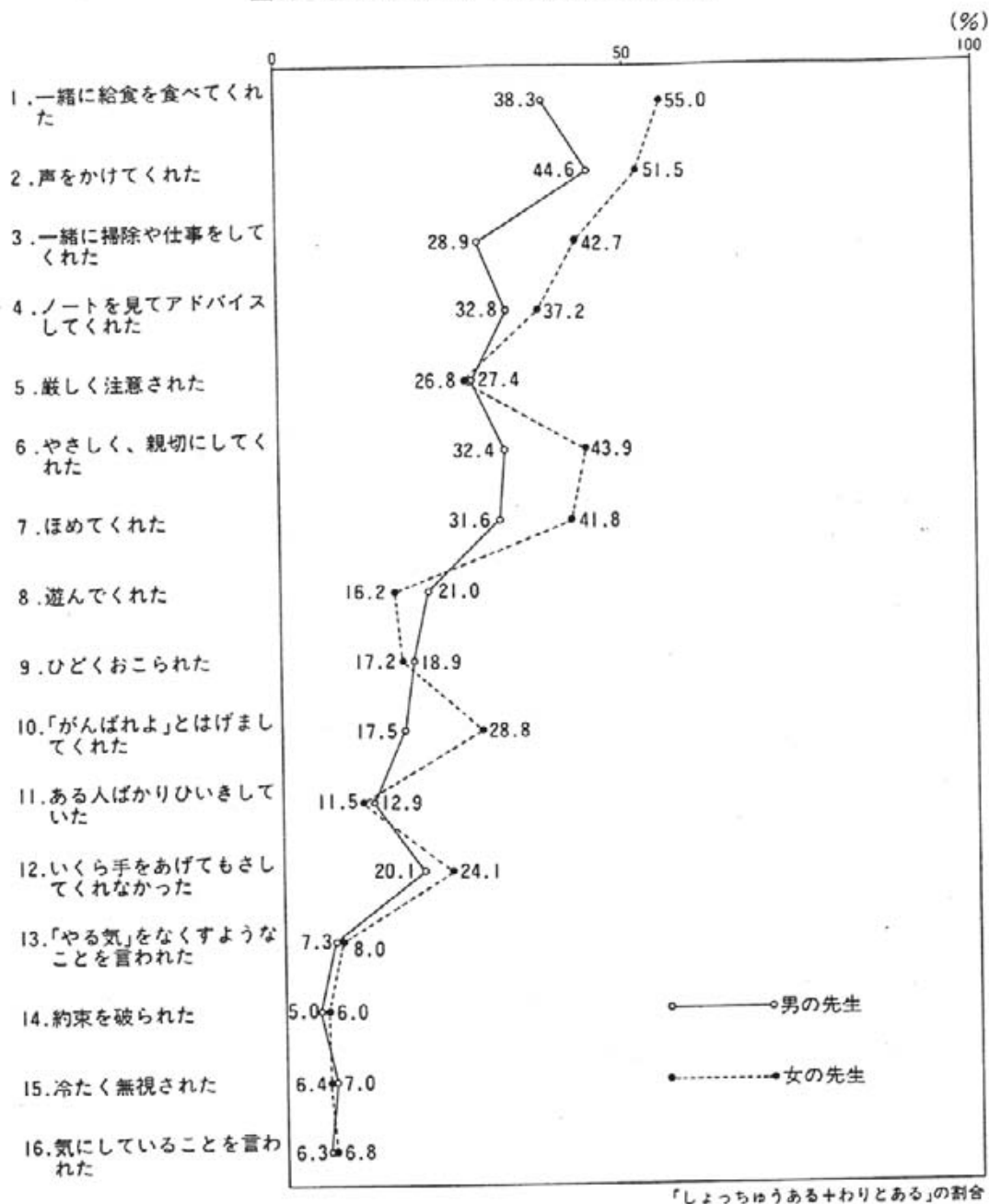


表11 担任の先生からの接触×先生の年齢

(%)
100

(%)

| | 20代 | 30代前半 | 30代後半 | 40代～50代 |
|------------------------|------|-------|-------|---------|
| 1.一緒に給食を食べてくれた | 53.4 | 57.6 | 39.6 | 35.3 |
| 2.声をかけてくれた | 54.2 | 49.3 | 46.2 | 41.8 |
| 3.一緒に掃除や仕事をしてくれた | 49.8 | 42.5 | 27.5 | 24.6 |
| 4.ノートを見てアドバイスしてくれた | 37.6 | 38.7 | 32.5 | 33.5 |
| 5.厳しく注意された | 24.5 | 23.2 | 26.0 | 42.0 |
| 6.やさしく、親切にしてくれた | 51.6 | 37.9 | 33.2 | 31.7 |
| 7.ほめてくれた | 46.9 | 35.1 | 33.3 | 37.2 |
| 8.遊んでくれた | 34.7 | 20.0 | 10.5 | 11.2 |
| 9.ひどくおこられた | 14.3 | 15.3 | 17.2 | 31.1 |
| 10.「がんばれよ」とはげましてくれた | 30.0 | 24.6 | 18.9 | 23.5 |
| 11.あるばかりひいきしていた | 14.7 | 7.7 | 11.3 | 18.0 |
| 12.いくら手をあげてもさしてくれなかった | 27.4 | 20.8 | 19.4 | 23.1 |
| 13.「やる気」をなくすようなことを言われた | 9.5 | 4.7 | 5.6 | 14.9 |
| 14.約束を破られた | 7.9 | 2.2 | 4.8 | 9.7 |
| 15.冷たく無視された | 6.9 | 4.4 | 6.4 | 11.8 |
| 16.気にしていることを言われた | 6.0 | 6.2 | 5.1 | 11.2 |

「しょっちゅうある+わりとある」の割合

○は最大値

—は最小値

刀割合

ふれあいのもたらすもの

子どもと先生とのふれあいという形のコミュニケーションが、先生に対する評価に少なからぬ影響を持つことが明らかになってきた。そこで、本レポートの最後に、その影響力の大きさに接近してみたいと思う。

図16は、担任の先生の評価と先生のプラスの接触量の関係をみたものである。ここでのプラスの接触量算出は、図12の担任の先生からの接触の中で「ほめる」など、子どもへの好ましい接触行動8項目の点数を加算し、それを接触量の「多い、中くらい、少ない」に、ほぼ3等分するという方法をとった。

さて、先生のプラスの接触は、担任の先生の評価にどれくらい影響するのだろうか。図から明らかなように、どの項目もプラスの接触量の多い子のほうが評価が高い。その差も30~40%と、接触量が担任の先生の評価に大きな影響を与えている項目の多いのには驚かされる。

続いて、子どもの変容、担任の先生への信頼における接触量の影響についてもみておこう。ここではプラスの接触だけでなく、同様

にして算出したマイナスの接触についてもあわせて検討してみたい。

図17、図18から明らかなように、子どもたちが自分が変化した、成長したと感じる部分に関してもプラスの接触が大きく影響している。反面、マイナスの接触には、ほとんど影響がみられない。

担任の先生への信頼感についても、同様のことがいえる(図19、図20)。

「ほめる」や「一緒に給食を食べる」などのプラスの心理的・行動的接触が、子どもと教師の信頼関係に大きな影響を持つことが、データの上でも改めて実感されたように思う。子どもたちと明日も教室で顔を合わせる筆者としては、このデータの示すものに改めて教師としてのあり方を教えられる感じを抱かされるとともに、40人の子どもたち全員が満足するようなふれあいが今の学校事情で可能なのかという不安、「ほめる」などの子どもとのふれあいを多くすれば、すべてがうまくいくのだろうかという疑問も心の片隅にわきあがってくる。

1. スオ
2. クミ
3. ユー
4. 忘
5. 服
6. 勉
る
7. え
8. た
い
9. 勉
10. お
し
11. 誰
12. 勉
13. 約
14. 子
か
15. ほ
が
16. 悩
17. か
18. 一

図16 担任の先生の評価×先生のプラスの接触

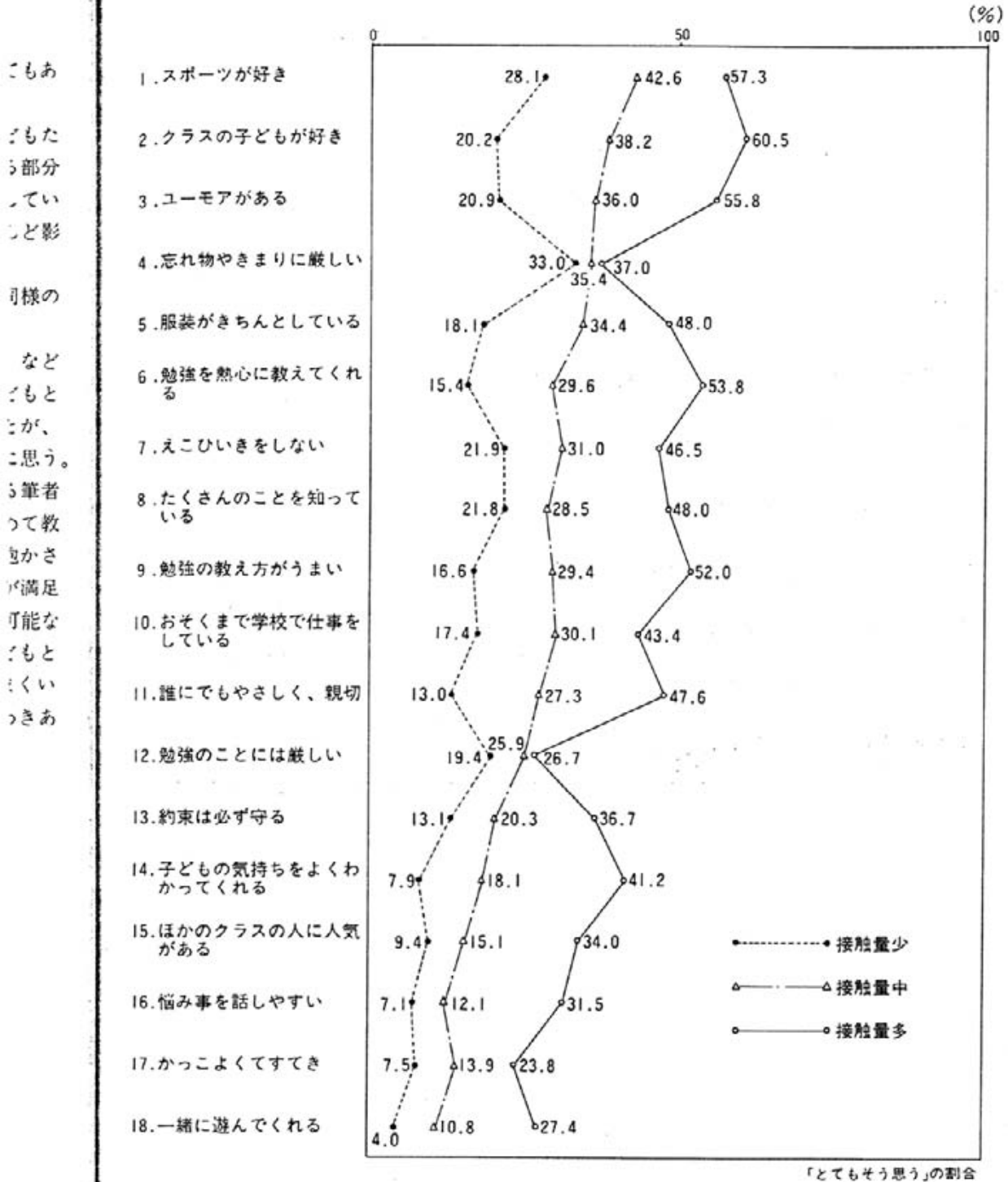


図17 子どもの変容×先生のプラスの接触

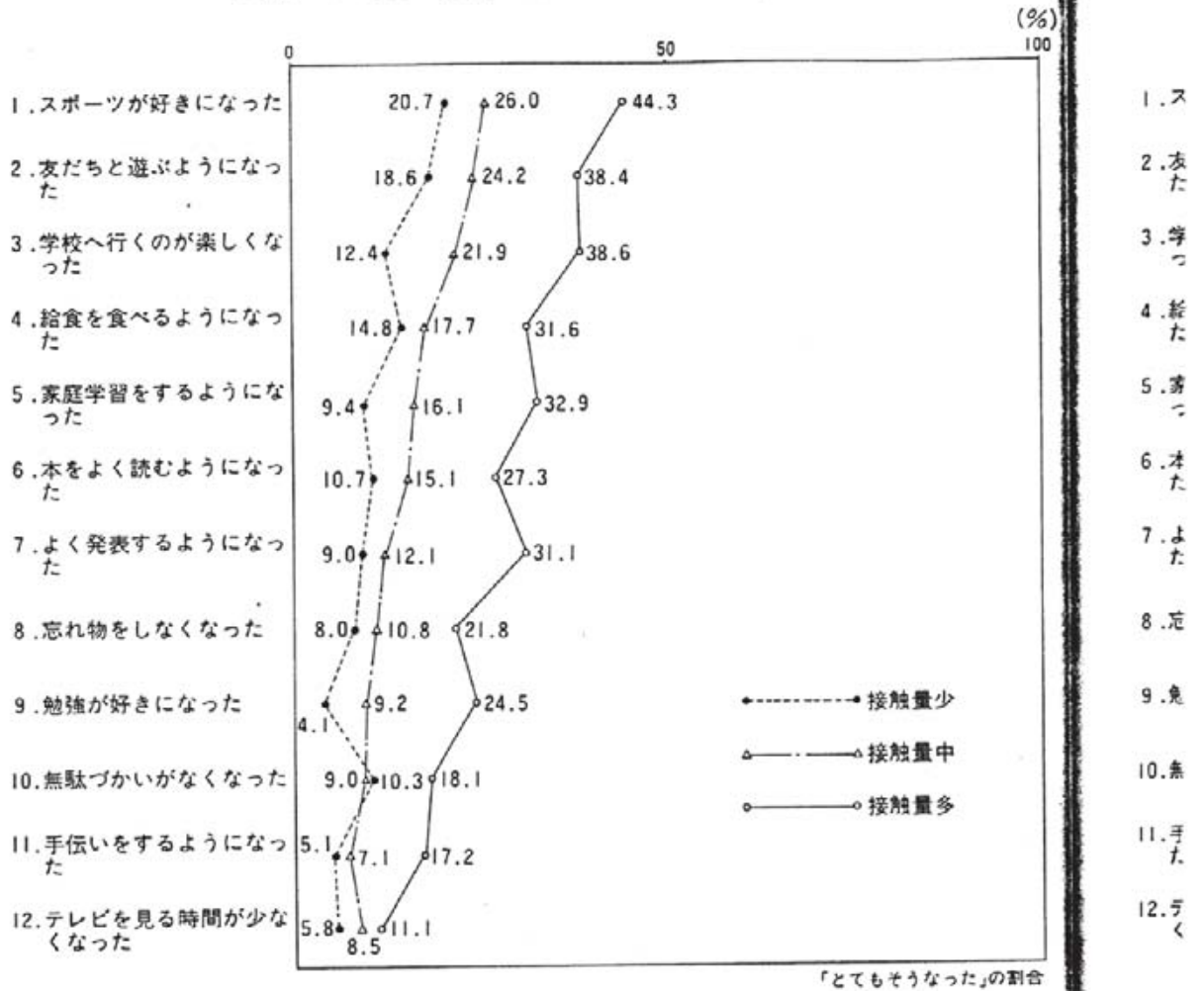
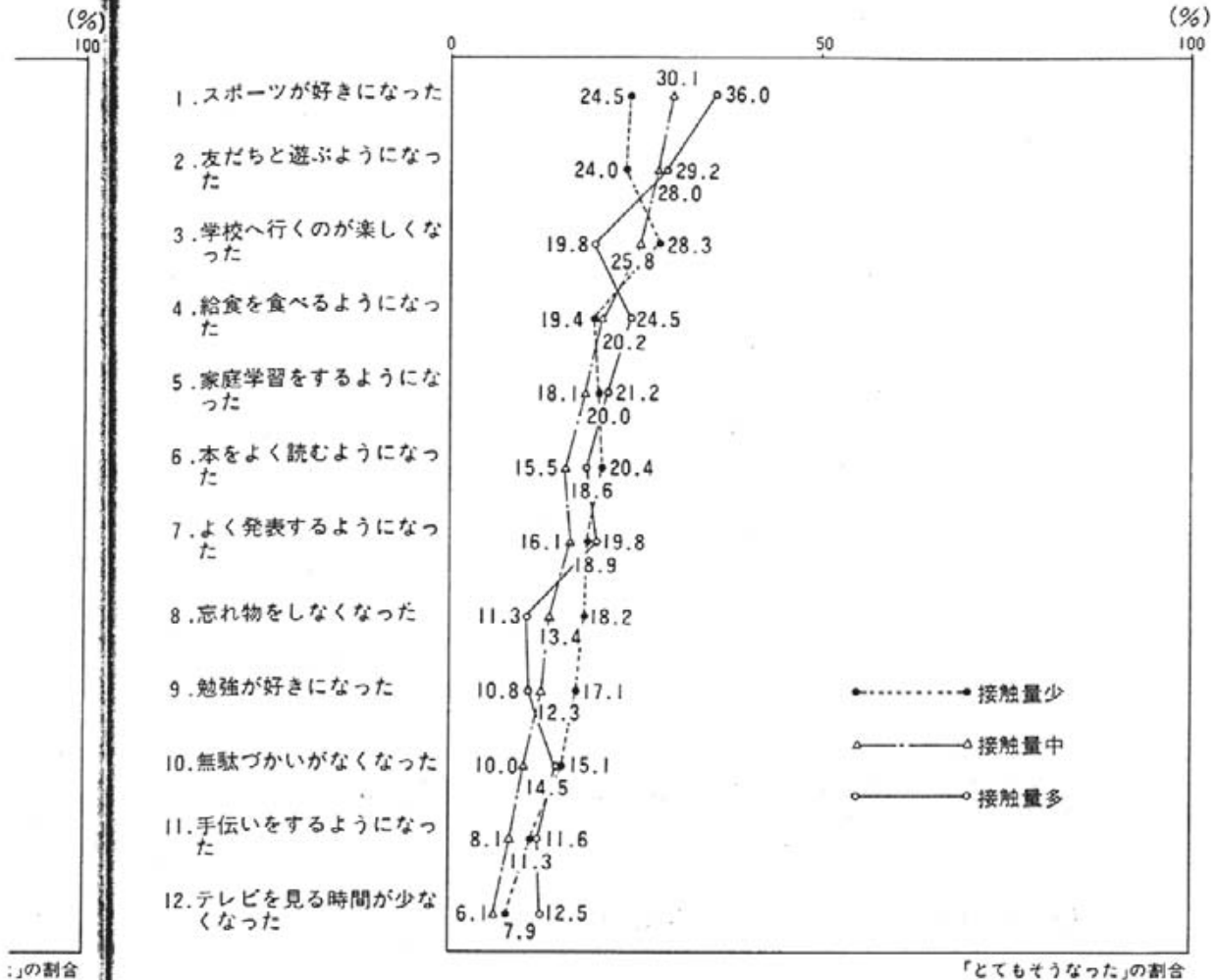


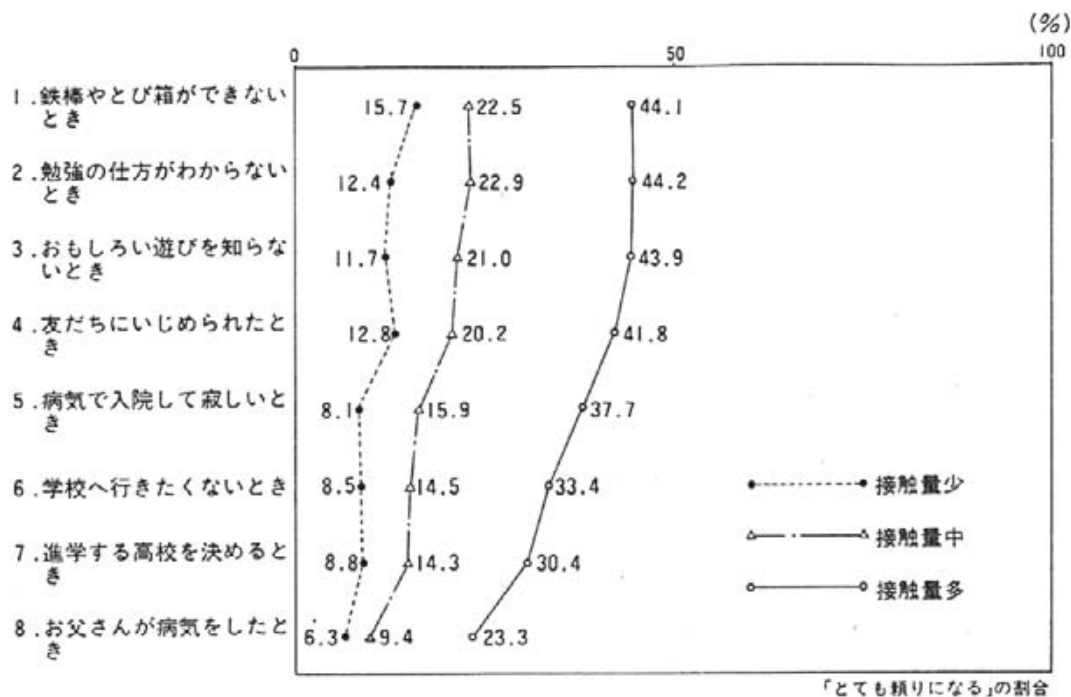
図18 子どもの変容×先生のマイナスの接触



「とてもそうなった」の割合

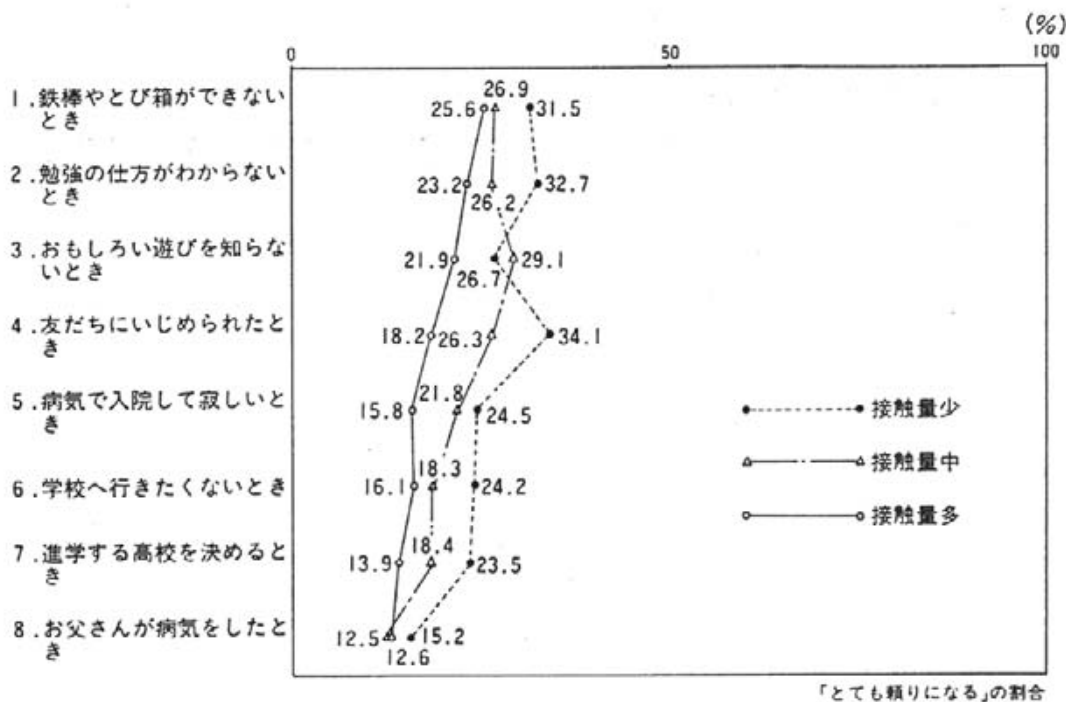
「とてもそうなった」の割合

図19 担任の先生への信頼×先生のプラスの接触



先生不足をあいを精を出伸びばかりれてもてくれ鍛えて子どもを痛感が弱く顔を

図20 担任の先生への信頼×先生のマイナスの接触



(%)
100

」の割合

(%)
100

」の割合



まとめに代えて

先生たちは今、子どもたちとのふれあいの不足を指摘され、子どもたちから暖かなふれあいを求められている。その一方で、授業に情を出していかなければ子どもたちの学力は伸びない、やさしさだけでは子どもは甘えるばかりで育たない、今ちょっとくらい嫌われても、将来おとなになったとき、わかってくれるだろうと、ピシピシと子どもたちを鍛えている先生もいる。こう考えてくると、子どもの心をつかんで授業することの難しさを痛感せざるをえない。まして仲間関係の絆が弱く、もろい心を持った今の子どもたちの顔を思い浮かべると、教師という仕事は大変

な仕事だとつくづく思う。

子どもたちの、「先生という仕事」についての意見と、「これまでの先生との思い出」を紹介して、本レポートのまとめに代えたいと思う。

子どもたち、特に女子にとって先生という仕事は人気のある仕事だと思っていた。しかし、図21にあるように、「あなたは将来、先生という仕事をしたいと思いますか」と尋ねた結果では、なりたいたいという子が男子で12%、女子で22%しかいなかった。

そこで、子どもたちになりたくない理由を聞いてみたのが表12である。ここには、比較

図21 先生という仕事をしたいか

| | とても そう 思う | 少し そう 思う | なんとも いえない | あまり そう 思わない | ぜんぜん そう 思わない | (%) |
|-------|-----------------|----------------|--------------|-------------------|--------------------|-----|
| 全 体 | 5.6 | 11.3 | 17.8 | 21.0 | 44.3 | |
| 男 子 | 3.9 | 8.4 | 14.3 | 19.8 | 53.6 | |
| 女 子 | 7.1 | 14.2 | 21.4 | 22.1 | 34.9 | |
| 4 年 生 | 6.9 | 12.6 | 18.2 | 21.7 | 40.6 | |
| 5 年 生 | 6.2 | 12.5 | 15.6 | 21.1 | 44.6 | |
| 6 年 生 | 3.6 | 8.5 | 19.6 | 19.9 | 48.4 | |

的多かった意見を掲げてみた。「先生は、子どもの気持ちをわかっていなくちゃいけないから大変」「先生になると、ひいきをしているとか、こわいなどと文句を言われそうなので」「生徒をまとめるのが難しい」「毎日帰って夜、次の日の勉強をしなければならないから」「夜おそくまで、生徒たちのテストや感想文を見なければならない」など、実に先生の日常の姿をよく見て、悩みをつかんでいる

ものだと思う。先生という仕事は、子どもにとって身近な仕事だが、子どもの目にも大変な仕事だと映っているらしい。

数少ない「先生になりたい」という子は、表13で次のように述べている。「勉強を教えることは大好きだし、しかも子どもが好き」「私の教わった先生方は、やさしいので私もやりたい」「学校ごっこで先生の役をやって、なんかいいと思うようになった」と、先生

の影
いう
ども
担
いう
から
生の
その
「

表12 先生になりたくないわけ

教えることがあまりとくいては、ないし、大人になったら、ほかの仕事をしていきたい。それに、先生は、子供の気持ちをわかっていなくちゃいけないから、たいへん。

(4年女子)

先生になると、ひいきをしているとか、こわいなどと、もんくをいわれそうなので、あまりなりたいたと思わない。

(5年男子)

生徒をまとめるのが難しいし、毎日朝から夕方まで、勉強を教えるの忙しいから、毎日帰って夜、次の日の勉強をしなければならいから。

(6年女子)

どもにも大変

子は、
を教え
好き」
で私も
やって、
先生

の影響やなんとなく楽しい仕事そうだからという、軽い気持ちからの理由が目立った。子どもらしい意見にいじらしさを感じてしまう。

担任の先生の姿を見て、先生になりたいという意見は多かった。そこで、1年生のときから今までのことを思い出して、今までの先生のこと、一番心に残っていることを尋ね、そのいくつかを紹介したのが表14である。

「おこられて校庭を走っていたら、先生も

一緒に走ってくれた」「遠足で疲れていたなら『あと少しだからがんばって』とはげましてくれた」「学校を休むと連絡帳にたくさん書いてくれた」など、教師側からすれば忘れてしまっているようなことを、子どもたちは「とても心に残っている」「とてもうれしかった」と語っている。こんな子どもたちの声を聞くと、思わずがんばろうという気にさせられるのは、きっと筆者だけではないだろう。

表12 先生になりたくないわけ

夜おそくまで、生徒たちのテストや感想文などを
見なければならぬし、
年々すくすくはなれている子どもとしたりするのは、
とてもつらいから。

(6年女子)

▽▽▽
どうせ、安月給なんだろうから、
やるなら、やるでもうかる仕事か
したいの！！！！ (安月給で生活か)
苦しくなってしまう)

(6年女子)

先生の仕事は、いろいろ責任をとって責任が
重い職業だと思うから。

(6年女子)

表13 先生になりたいわけ

他の人に勉強を教えることは大好きだし、
しかも、子供が好きだから。また、子供達といっ
しに遠足に行くことは楽しいと思うから。

(6年女子)

私は、小さい頃は、大好きです。それに、子どもた
ちのために、いろんな物を作ってあげて、しんぶん
も、一年生ぐらいになったら、作ってあげたりしたいな。
それに、子どもたちのために、そうたんにのって
あげたい。私のお母さん、先生かたは、やさしいの
で、私もやりたい。私は、あまり、あたまはよくな
いけど、教えたい！とかれると思うけど、子どもたち
のためならいいと思う。

(4年女子)

まわり、いつも子供たちは、かりで、いろいろ
教えてあげられて、楽しいし、しごとでも思い
出がた、たくさんありそうだし、自分の担任の先生
をみてそう思った。

(5年女子)

3年生ぐらいの時に、学校ごっこをやった。ふつと、先生
の役を、やった時から、なんか、先生っていいなあ
と思うようになった。

(6年女子)

表14 先生との思い出

3年のとき、おこられて「こうてい10しゅう走りな
さい」といって走っていたら、いっしょに走
てくれたときがいちばん心に残っている。

(4年男子)

(うれしかったこと)
三年生でのんそくで、私がつかれていたとき、少し
だからがんばってとほげましてくれたこと。

(4年女子)

体育をよくやってくれて、休み時間
も、いっしょにあそんでくれた。
とてもユーモアがあった。

(5年男子)

うれしかったことは、学校を休むと、
連らくちょうにたくさん書いてくれた
のでうれしかった。

(5年女子)

表14 先生との思い出

2年生のころの先生は、私によくほげましてくれて
熱心に、勉強を教えてくれたことが、とても
うれしくて、心の中に残っている。

(6年女子)

- みんな(クラス)でおこられたこと。
- 思い切り、失敗しておこられたけど、今度からみんなが「れあ」と
ほげおされたこと。

(6年女子)

選抜

タ
を
訪
う
と
い
と、
業
地
教
育
グ
ル
を
目
に
と
し
知
事
の
語
を
掲
げ
gif
う
ど
の
担
任
資